

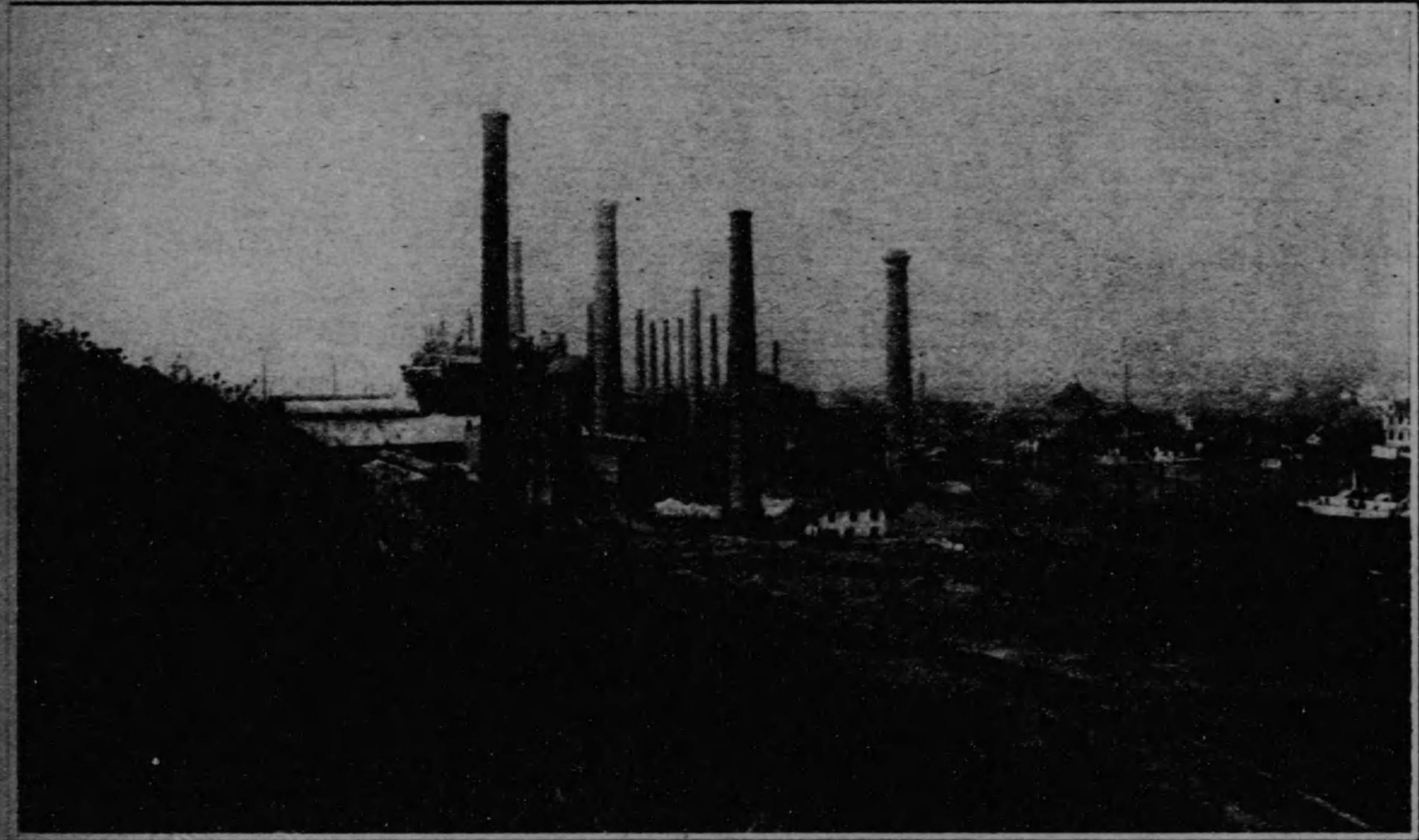
93 漢陽製鐵廠

◇ 漢陽製鐵廠は大冶鐵山、萍鄉炭坑と共に、漢冶萍公司の三大事業の一で、張之洞の大冶鐵山發見に後るゝこと二年、一八九二年の創設にかゝり一八九四年八月から開業したが、資金缺乏のため張總督はドイツより借款をなし、獨人を聘してその技師とした。張之洞が經營に行詰つてこれを盛宜懷に譲渡したのが一八九六年で爾來今日に及んでゐる。同廠は漢口の對岸漢陽の大別山下にあり、今日では公積資本三千萬元の株式會社で、熔鐵爐四基三百屯一基、百五十屯三基を有す。さきの武漢革命に際して兩軍の接戦場となつたため一時中止のやむなきに至り、一旦修理の上再開したが變許ならずしてまた一經營上の墜跌を來し、製造を中止してからもはや二年以上になる。

◇ 一方國民政府は武漢移轉と共に大工業國營の題目の下に、逸早く漢冶萍公司に着眼し、同公司における幹部の腐敗、遂に工人を制することの不可能を理由とし、一九二七年三月整理委員會を創設して政府の管理を議決し、同公司の全財産を接管(引継ぎ)管理の意を發表した。しかし以前の取極めにおいて「公司を没收せず、日本資本家の同意なくして國有とせず」との一項があるので、それが没收であるや單純なる監督であるやが主要の論點となつたが、

◇ とに内日本としては既に五千萬圓の資本を投下せる同公司が經營難を訴へ、借款に亞くに借款を以てする事實に徴し、これをどう解決すべきかは重大なる問題であつて、恐らくは我長江政策のテスト・ケースとして考案されてゐるものと思はれる、その將來果して如何?

◇ 写真漢陽製鐵廠



## ④ 北洋材の積取り

- ◇ 素材(一二回参照)と相重んで、わが國木材供給の元締を承はるものに北洋材がある。南洋方面から輸入されるいはゆる「南洋材」も最近漸次増の趨勢にあるが、まだこの兩大體を向ふにまわすほど有力ではない。
- ◇ 普通「北洋材」と稱せらるゝものは、北海道、樺太及び露國沿海州の産材全部をひつくるためたもので、材種は主としてエゾ松、トノ松、高麗松等、北海道及び樺太材の積出量は約一千一百萬石(昭和二年度)沿海州材は約百八十萬石(同年度)である。
- ◇ 素材が内物として輸入さるゝに反して、北洋材はたいてい丸太のままではいつて来る。そして内地で多く散積に停られて、大部分は諸種の包装材の材料となり、或は安普請の用材ともなる。素人考へでは北洋産地の産材は成長も遅々として、材質も緻密に出来上りさうに思はれるが、事實はさう簡單に参らぬといふのは、長い間の嚴寒にいられた木々が、短い夏の間にこの時とばかり成長する、いはゞ木材の製造製造といふわけ、従つて木質も柔らかになり勝ちの道理。

- ◇ 北洋材の積取り期はまづ四月から十一月まで、それ以後は結氷でどうにもならぬ。奥地で伐つた木材は山川を利用して海岸まで流して来る。そこで後に組んで最寄の陸揚地まで曳行して、まつてゐる汽船に積み込む。それからはるく、濱、野、神、さては四國、九州の遠くまで輸送するには、運賃だけでも百圓前後から百四五十圓がらみ、北洋材百石の相場を五、し百圓としても、その二割見當は運賃に喰はれてゐるわけである。

◇ 写真は北洋材の積取り



## 95 アイランド銀行

◇——アイランドにも英國銀行のやうな銀行をたてたいことは、十七世紀の末頃から、ダブリンの有力商人達が抱いてゐた希望であつたが、この希望が實現したのは一世紀近くも経た一七八三年で、初代総裁ダヴィット・ラ・トウシュの下に營業を開始した、資本金六十萬磅、一八〇二年には議會議事堂を四萬磅で買取り、ここに移轉した。

◇——アイランド銀行の設立は當時のアイランド財界に絶大の刺激を與へ、民間銀行も三つ四つ出現された、始め政府は發券銀行の數を六行に制限したが、一八二一年ダブリンの五十マイル外を限つて六行以外の發券銀行を許可し一八四五年更にその全制限を撤廢した。

◇——小銀行の發生はその當然の結果で、瞬く内にその數約五十行に達したといはれるが、一八四四年英國議會で銀行法立案の説明に當つたピールの言によれば、これ等箱銀行の殆ど全部が、當時既に潰滅し盡してゐたといふのだ。

◇——併しアイランド銀行は幸ひにして大過なく成長し、現在拂込資本金二百七十六萬九千餘磅、發券高は全アイランドの發券許可額六百三十五萬餘磅の大部分五百九十七萬三千磅（一九二七年末）、預金高約三千四百萬磅、アイランドの中央銀行として天晴れの御用をつとめてゐる。

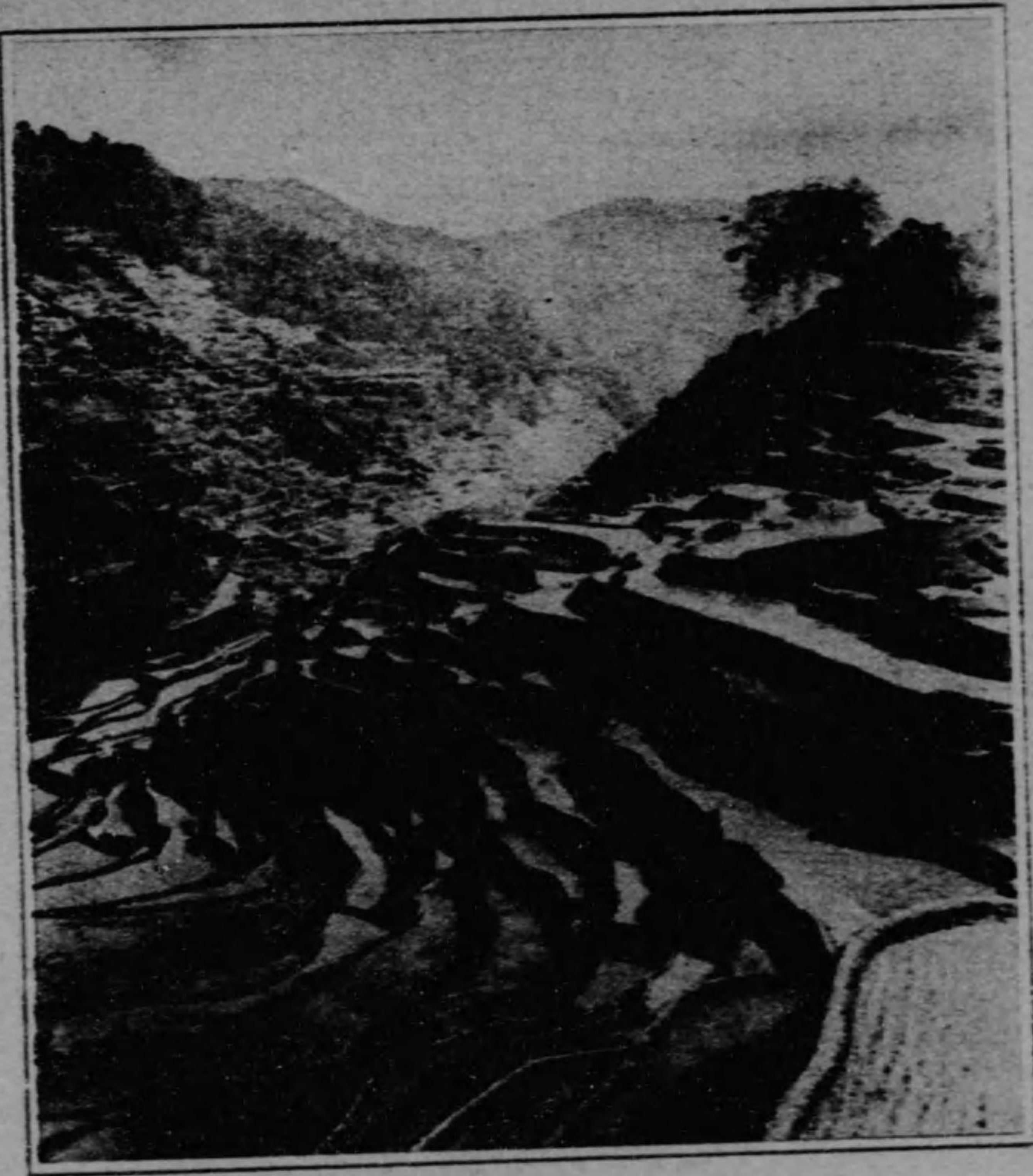
◇——寫眞はダブリン市のアイランド銀行本店



### (\*) ファイリツピンの米田

◇——米は比律賓人の主食物であるが、米作は天水によるものが多く、河川を灌漑するものは殆どない。イゴロット族やイフガオ族は二三千尺の高さの山上を拓いて天水を流す田を作る。溪谷を耕作するに病氣に襲はれる危険があるからだらうが、さすがに熱帯地方における水田経営の困難を思はしむるに足るものがある。比島の人口一千百萬人、日本人の割合で米を食つたら、少くとも一千萬石以上の供給がなければならぬのだが、収穫高は約三百萬石、それに百五十萬石の輸入外米を加へやつゝ日本人の半分にも足らぬ消費量である。こゝにもやはり米の備みがあるわけだ。

◇——寫眞はイフガオ族の山嶺水田



## 97) ドンバス鑛區

◇……一帯のチビ軍を載せ、地中海からボスポラスを抜けて黒海に入り、左手途かなるセバストポールの夕照に、クリミア戦争の昔を偲びつゝ、更に海門をくゞつてアゾフ海上の客となる。

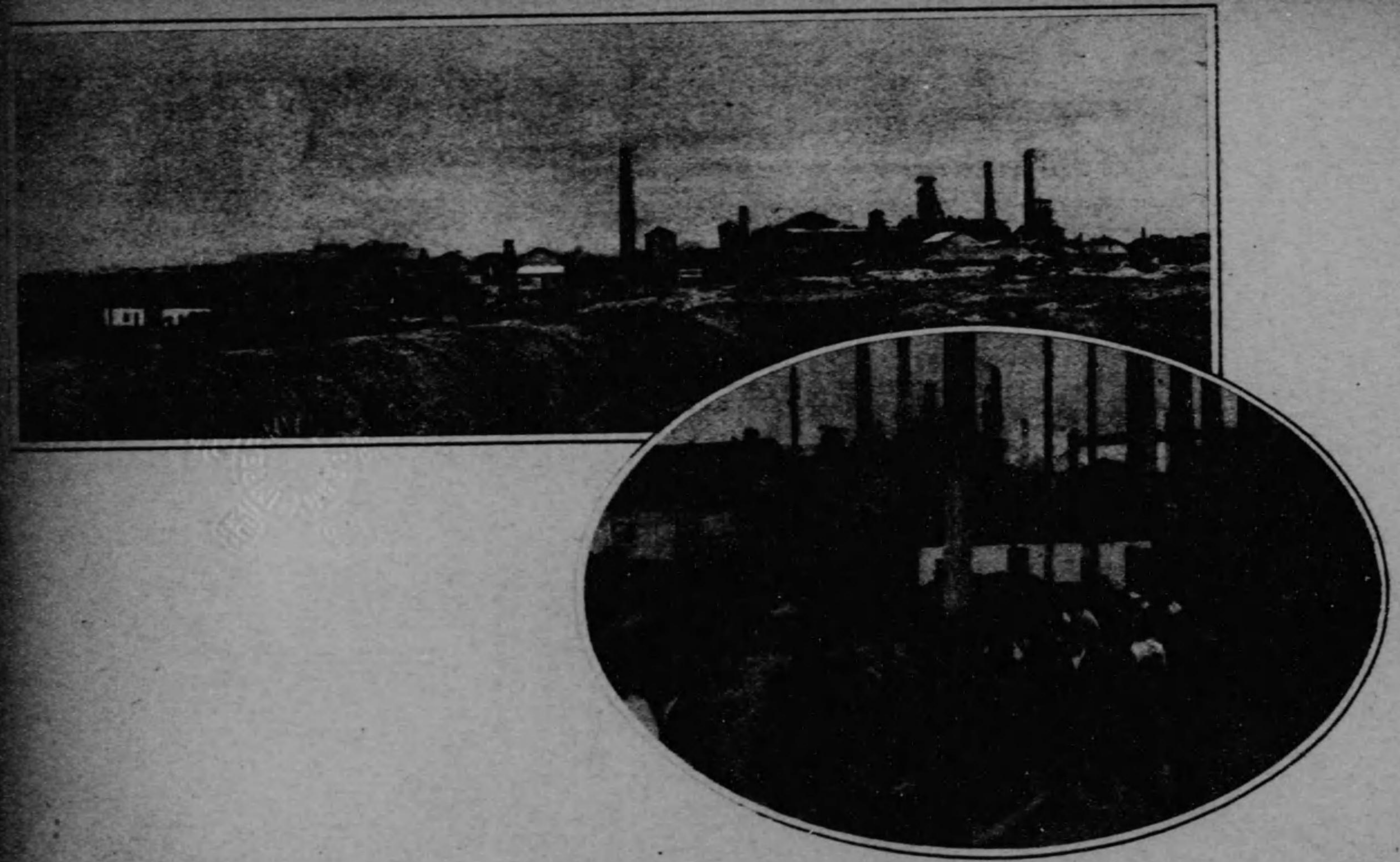
◇……やゝ我が國初期に似たアゾフ海の、例へば大津に當るアゾフの町のあたりへさして、瀬田川ならで、これは反對に流れ込む一大河、ドン河である。このドン河流域一帯はドンバスと稱して古くからロシア第一の炭坑地、その埋蔵量はロシア全土の一割と見積られてゐながら、戰前においては全露産炭額の十分の九を供給したるもの。

◇……石炭ばかりでない、鑛石も出る、水銀鑛としての辰砂も相當の額に上つたといふが、たゞ山河長久に在れども國を擧げ、人をこぞつてかの戦期轉變にかまけて以來、荒れゆくに任ずる幾歲月、

◇……勞農ロシアの基礎高く定まるヤロシア工業振興の根本策はまづドンバス鑛業地の復興にありとして政府は銳意力をこれに用ひ、鑛山、熔鑛場、その他化學工廠の再興新設、發電設備の完成等々、またつとめてアメリカ及西歐諸國の資本と技術を輸入した、何れも政府の嚴重なる管理の下に履行したことはいふまでもない。

◇……而して重要工廠はこゝドン河の岸邊に群生し、天明勞農工業の源泉として地に平和、従つて天に雲煙の絶えざる限り、人々にその多幸の將來を約束するに充分である。

◇……写真はドンバス地方のシエチエルピノフス炭坑(上)と工場へ急ぐ勞農(下)。



## ⑧ 紐育棉花取引所

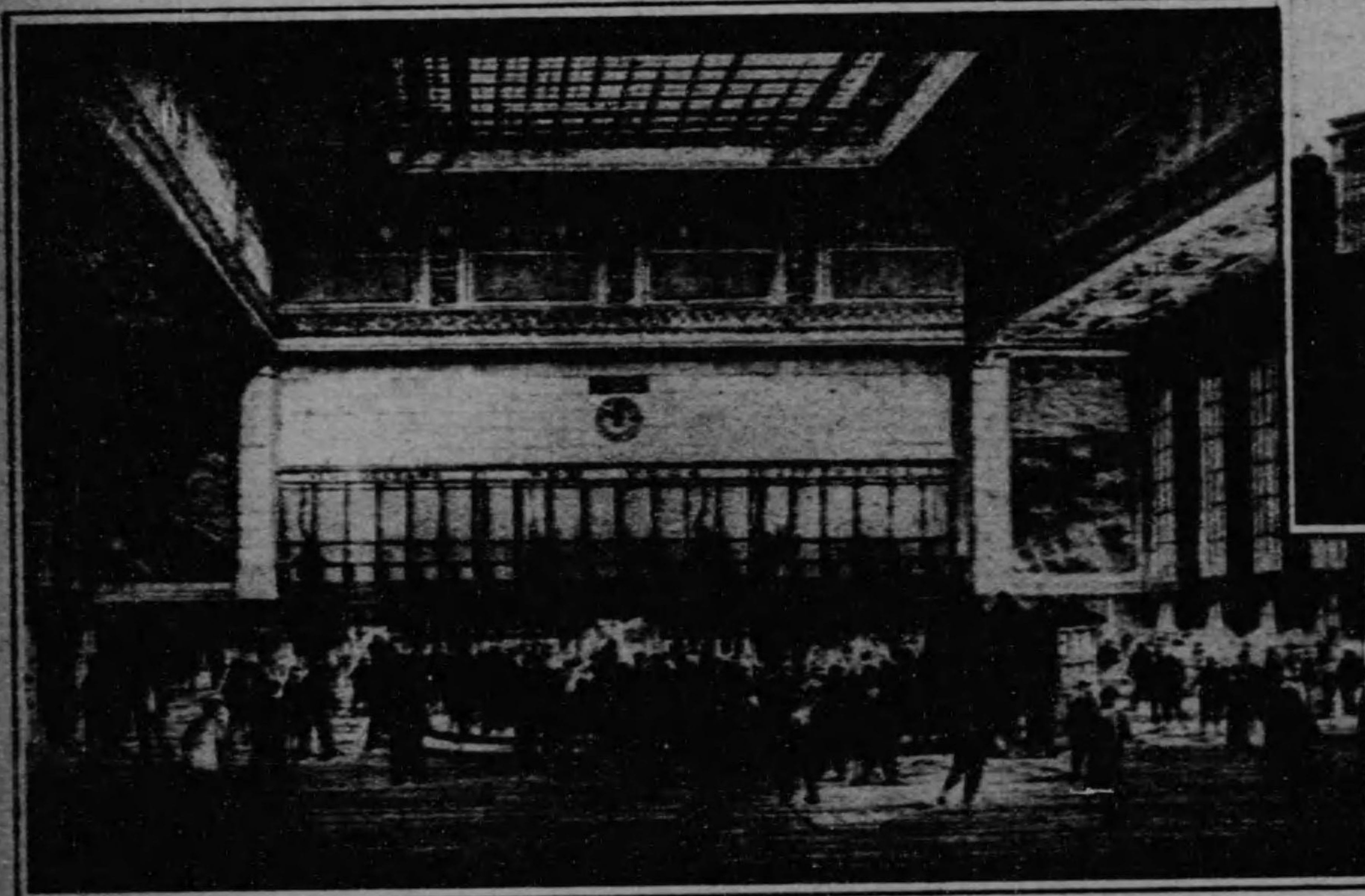
◇——一九二七年の米棉輸出高は九百四十七萬俵（八億二千六百萬弗）で、前年同期に較べるに俵数では四パーセント半の増加だが、金額の點になるに僅か一パーセント半の距りしかない。棉の値が安かつた證據で、これでは米國の棉百姓さんも困る譯だが、併し何にいつても米棉は棉花の王、世界産總高を二千萬俵（五百封度俵）に見積つても米棉は千二百萬俵（一九二七年度）にその六割を占めてゐる。

◇——この米棉の世界的重要さを如實に語るのが、御覽の通りの立派な高樓紐育棉花取引所、百名ばかりの會員を集めてこの取引所が創立された一八七〇年の頃は、紐育の人口も百萬に足らずの時分で、パール街に立並ぶ古ぼけた小店舗の階下に初めてニューヨーク・コットン・エクスチエインズの看板をかけたものだが、

◇——一九二三年に落成したハノーヴァー・スクエアに於る三度目の新築はウオール街の南、ウイリアム・ビーヴァ、パールの三街に跨り、紐育商業區域での最も美麗な建物としてその當時資金を費つたといふ自慢の物だけに流石に立派で、設備も判れり盡せり、殊に珍らしいのは取引の場がこの高樓の第十九階に置かれたとである。

◇——忙しい人の出入する場をそんな高い處へ持上げたのがそも、この社會での新しい試み、當時は随分反對もあつたさうだが、空中市場の爽かなフレッシュ・エアが豊かな日光が今では會員一同の誇りとなつてゐる。

◇——寫眞は紐育棉花取引所の建物とその立會場



## スコットランド銀行

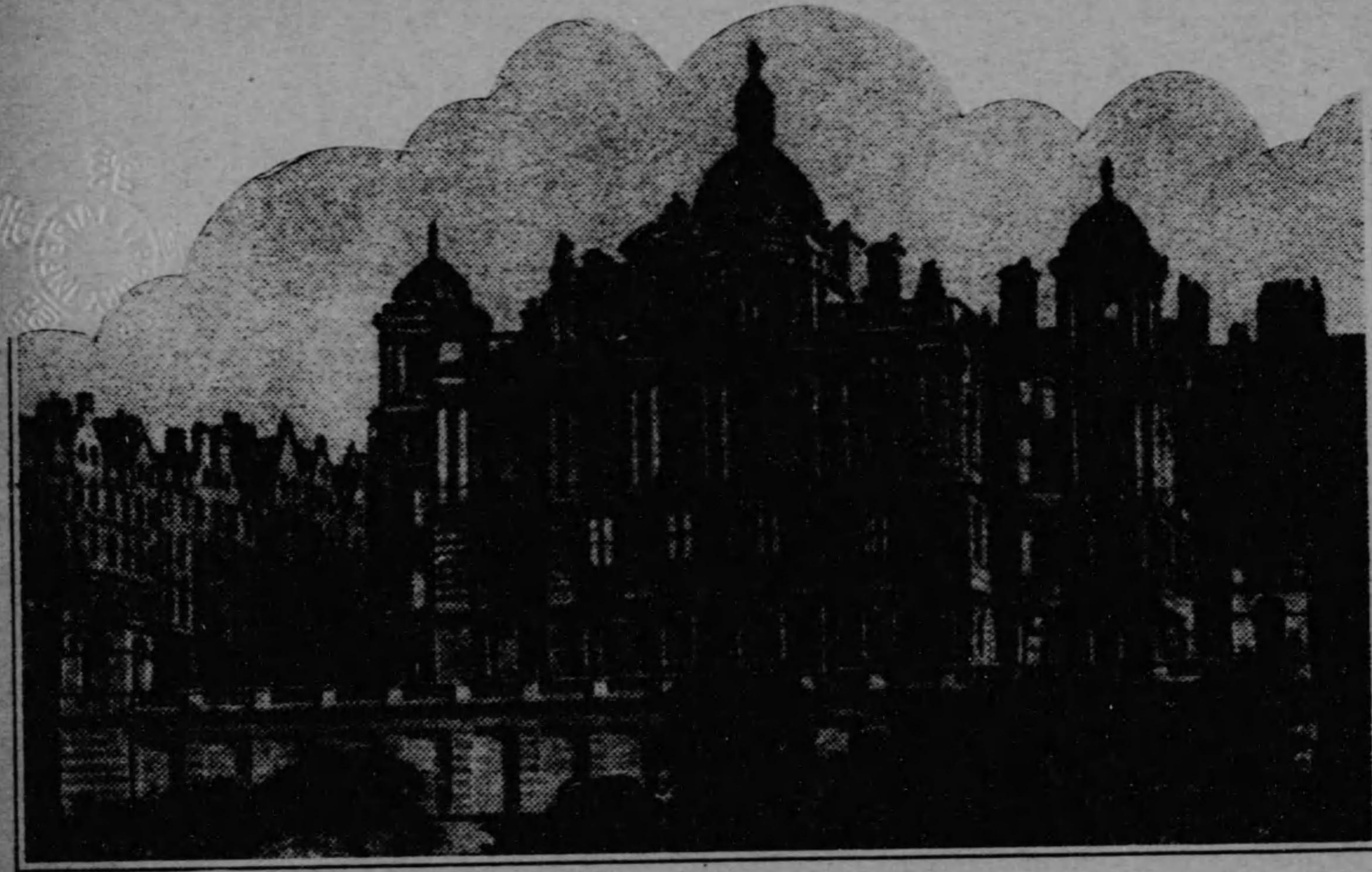
◇ 現在のスコットランド銀行は、その歴史の意義を外にしては、スコットランドの金融界に對して何等特殊な重要性をもつてゐない。一六九五年といふ設立年月は英國銀行開業の翌年だから、確かに世界最古の銀行たる名に當る資格十二分の古色蒼然たるものだし、また一七二七年まではスコットランド議会の法律によつて、同國における唯一銀行たるの地位を保證されてゐたものだが、

◇ その年になつてこのスコットランド銀行の獨占法廢止の結果、國庫銀行の續々と濫設され、さすがの元中央銀行「尤も一つが全部だつたのだが」も銀行の洪水に押し流されんとして辛くもふみ止まつたかたち。

◇ 併し勿論こんな風で露出した「雨後の竹の子」銀行が早晩殺戮し去るべきは東西に異例なき古今の鐵則で、スコットランドのこの凡百銀行も漸次淘汰されて、今ではスコットランド銀行の外には獨立の株式銀行が五つ六つと、五大銀行（ビツダ・ファイヴ）の子銀行が二つ、何れも發券權を有して資本金といひ、積立金といひ、その他資産負債の内容まで大抵似たりよつたりのドンダリの丈くらべ、それで、

◇ わがスコットランド銀行も所詮このドンダリ仲間の一員に過ぎない、しかもその資本金は百五十萬磅で、ローヤル・バンク・オヴ・スコットランドの百五十萬磅、コマリシャル・バンク・オヴ・スコットランドの百七十五萬磅と順に數へて漸く第三位、兌換券の流通高が二百八十萬磅で第二位、預金額も二百萬磅で、これまた第三位といふ成績、そこで結局今日のスコットランド銀行は歴史的意義以外には、何等の特殊重要性を有しないと云つて可い。この結論に反る譯で、英國銀行などには勿論、その指導的地位ではアイルランド銀行（九五回参照）にさへ遠く及ばないといふことになる。尤も十分の特權や優待をもつてゐる各國の中央銀行でも、でかい民間銀行を統制するのは四百八苦の當世だから、スコットランド銀行のドンダリ振りには別に何等の不利も意味しないことを保證しておく。

◇ 寫眞はエヂンバラのスコットランド銀行本店



## (100) ゴスバンク

◇—モスタワの銀座トヴォルスカヤ街の中段に建ち大さくもない白壁の建  
物がある、これはこれ後露ロシヤの国立銀行ゴスバンク、門口に突立つた  
いかめしい窓飾が出入の人々のボケツトや持物を慎重に調べてゐる。

◇—ゴスバンクは一九二二年、新経済政策が採用され、金融機關の必要を  
見ると同時にその十一月モスタワに設立され、資本金は二千五百萬チエ  
ルゴオネツツ、九四五・八チエルゴオネツツを下とすると、二千六百八十餘  
萬、今ではロシヤにも各種の特種銀行があるが、ゴスバンクはこれら各  
種銀行の資金總額の三分半の資金を支配し、金融上、斷然獨逸的勢力を顯  
つてゐる、そのおかげで

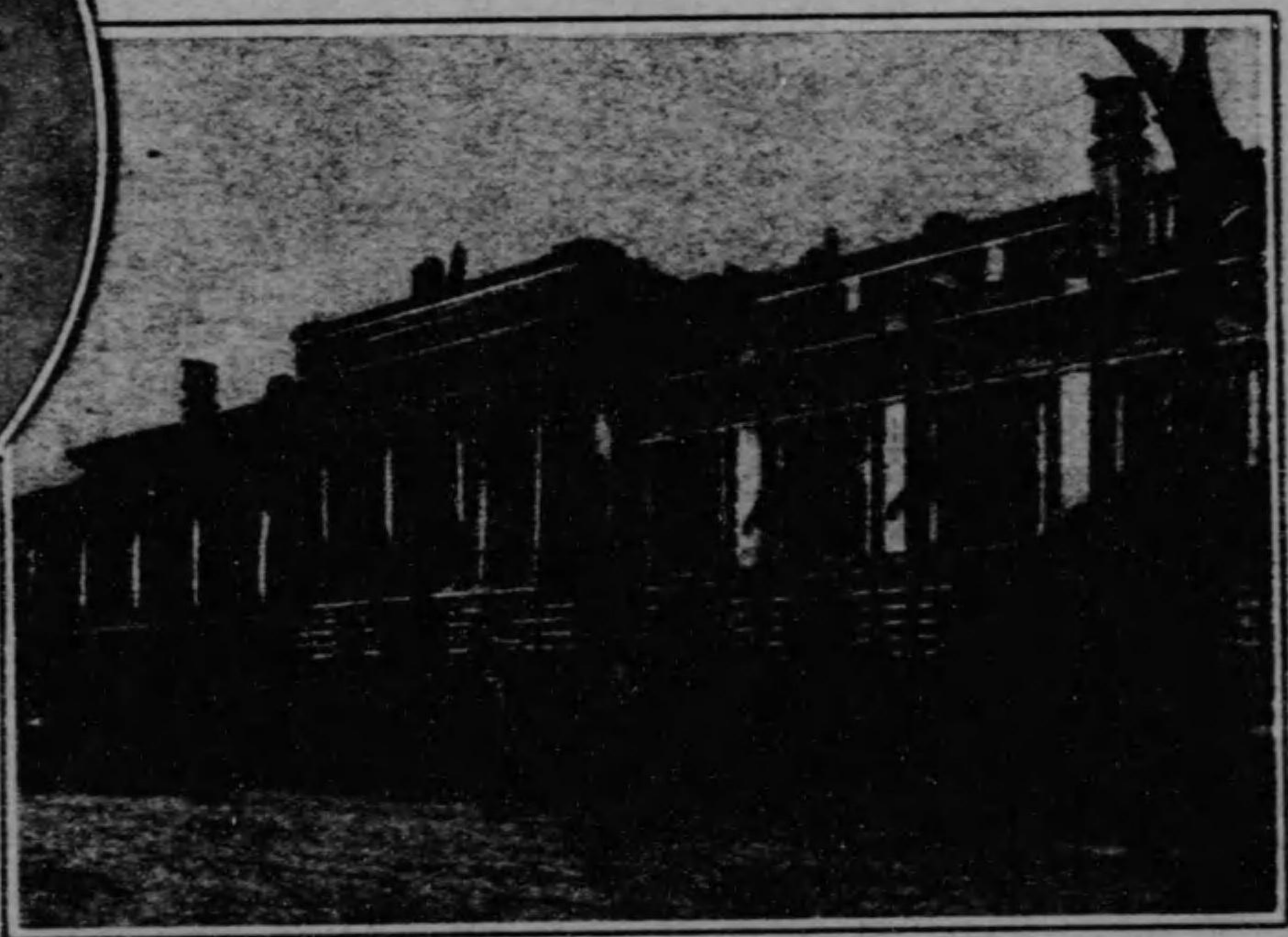
◇—革命以來さしも多様を極め、反古にも等しい下流をよんだ既成銀行も  
一九二二年十月の布告によつて、ゴスバンクがチエルゴオネツツなる新銀  
行券を発行するに及んで漸次影をひそめ、今では完全にこのチエルゴオネ  
ツツに統一さるゝに至り、またチエルゴオネツツ自身もロシヤ當局の渾身  
の努力をこらさず、今では可成りに堅固な銀行となつてゐるが、

◇—振るつてゐるのはその保證準備、少なくとも發行高の四分の一以上は  
金地または購買な外國貨幣を保有物とすべく、あとの四分の三は容易に貨  
幣に替へ得べき品、短期證券、爲替手形といふ規定によつて、この貨幣に  
替へ得べき物の中に露ロシヤ皇室の財寶が充てられてゐることだ。

◇—露ロシヤ皇室には世界稀有の逸品が、幾世紀にわたつて蒐集貯蔵され  
てゐたことは有名な話であるが、ソヴィエト政府で作威した月録では總數  
四百六點で、總計五億ルーブルと評價され、中にも「オールド」といふダ  
イヤの如き、大きさにおいて世界第一といはれ、百九十四カラット、こ  
れ一個だけで時價六千四百萬ルーブルだといふし、また四千九百三十六個  
の寶石を飾めた冠たる王冠一個が實に一億四千萬ルーブルといふ高貴なも  
のである。

◇—その他無数の寶物珍品、これこそチエゴオネツツの寶庫の源泉だと、  
勞務當局も外國人には好んでゴスバンクの藏の中を覗かせてゐる。

◇—野真はゴスバンクと保證準備の王冠

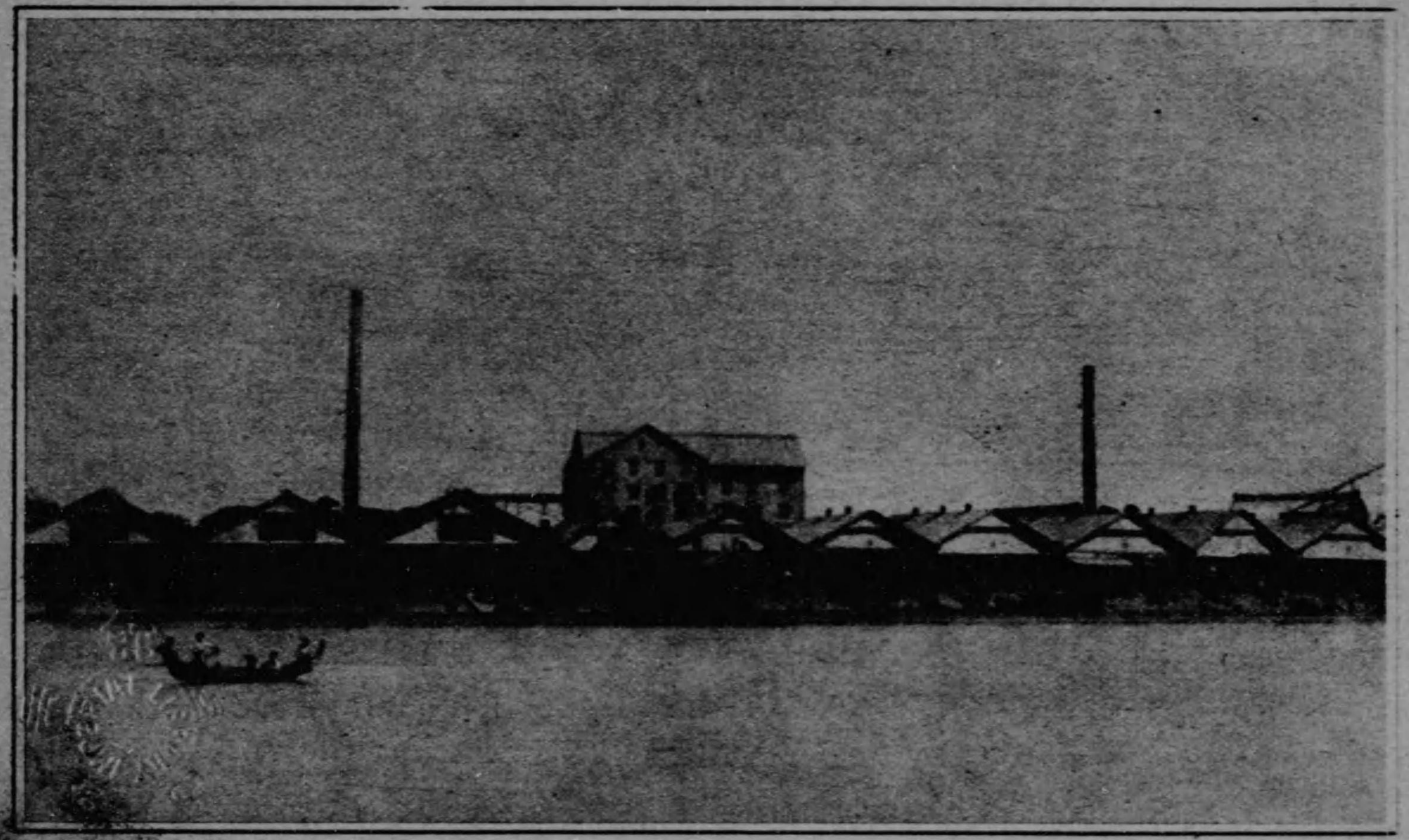




(101) 蘭貢の日綿精米所

◇ 一いはゆる南京米の本場蘭貢には従来歐洲人經營の精米所の大きなものが五社あつて、彼等はブールを組織し、獨占的の暴威をふるつて始末にをへなかつた。彼等に對抗するにはさうしても一流の精米所を經營する外はない。恰もよし、右五社中の一社が經營者の死亡によつて賣物に出た。それを買取つたのが日本綿花會社である。大正九年春のこみであるが、それからこいふものは蘭貢米の日本輸入も激増し今では日本綿花一社だけで十數萬屯の蘭貢米を日本へ輸入し、次いで三井三菱でも多量に輸入してゐる。

◇ 一寫眞は日綿所有の精米所、敷地は一萬三千坪、附屬倉庫四百四十坪、精米能力一日七百屯（即ち四千七百石）日本人社員五名で技師、雇員百數十名、苦力六百名は大方印度人ビルマ人である。位置は蘭貢市外ブズンドン河岸、鐵道引込線で河陸運送の便も持つてゐる。



## (102) ロイド組合

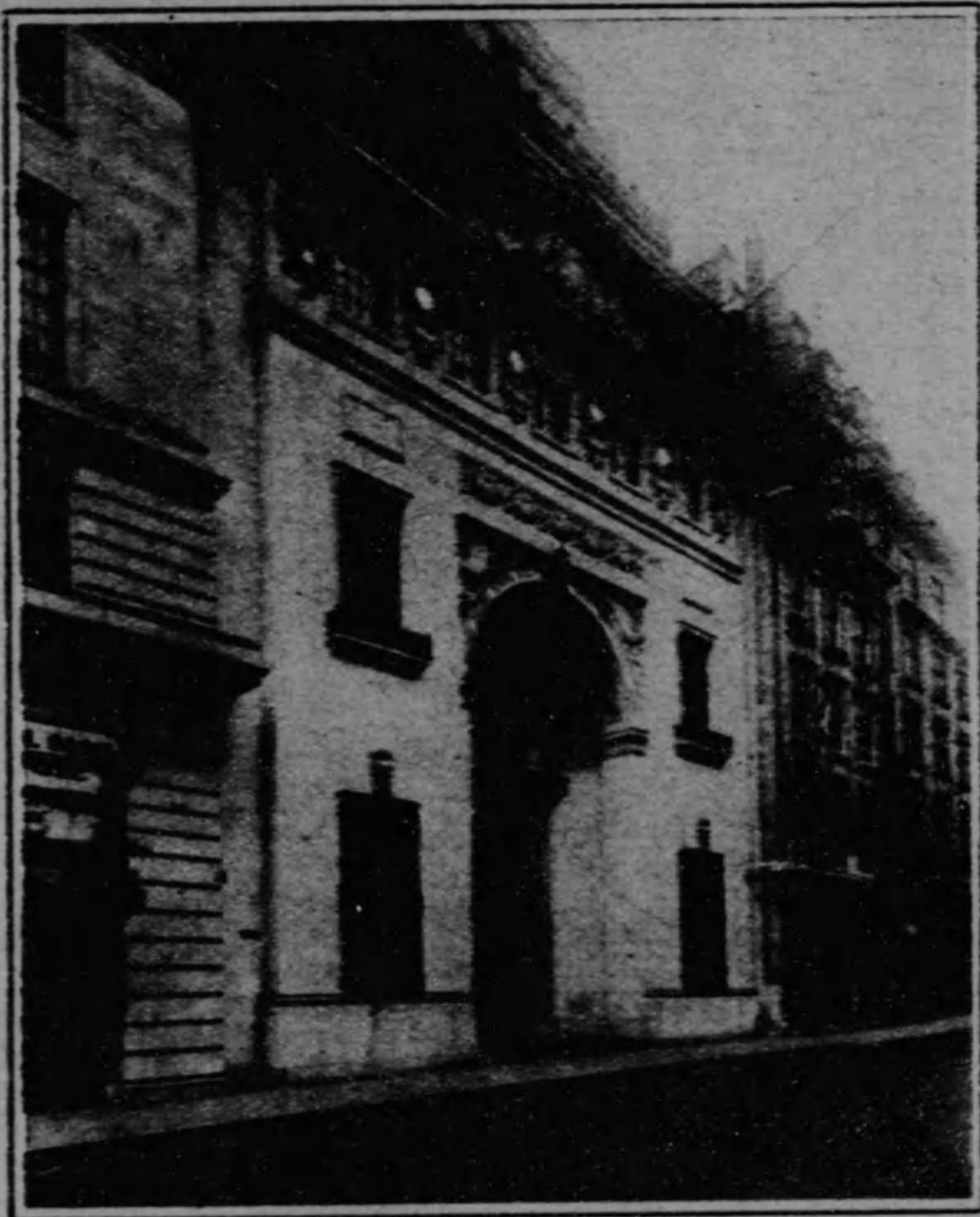
◇— 勤勞が始めて英國に輸入せられて同もなく、一六八八年のころ、倫敦はタワー街にエドワード・ロイドといふ男がさゝやかな勤勞店を開いた、一年二年と繁昌してくるにつれ自然と客筋が一定して海員、船持、保險業者またはこれに關係のある商人達が専ら集る様になり、こゝで種々の海運關係の取引、中にも海上保險契約が盛んに取結ばれるやうになつた。それ以前英國における海上保險業は主としてイタリイから来たロンバード人の手で行はれたが、ロイドの店が出来てからは海上保險業者が全くこゝに集中せられるの體を呈した、それにロイド勤勞店のおやち、中々抜け目のない男だつたと見え、海運に關するニュースなどを集めて一種の新聞を発行し、一七二六年以後これがロイド・リストとして今日まで讀いてゐる。

◇— 一六九二年、タワー街からロンバード街に店舗を移し、業務ますます盛大に社いたが、やがて店主のロイドが死んだので常連の海上保險業者百名ばかりがロイド・リストと共にその店を譲り受け、同業者の組合を組織し、主人の名に因んでロイド組合と名をつけた、その後今は保險ロイドとは獨立した一職業となつてゐるが、船名録の発行及び船體検査をも行ふ様になり、一八七二年には「ロイド法の下に法的存在を認められた。

◇— 現在のロイドは組合員千名に近く、保險料収入は三千萬ポンドに上るといはれてゐる、併し組合であるが、營業はすべて個人の計算でその間に何の連帶關係もない、尤も組合員中更に、數名のシンジケートを造つてゐるのが多く、その内の一人だけが毎日店に顔を出す、保險契約の取組は必ずブローカーを通じて行ひ、直接には決してやらない、申込を受けたブローカーは組合員間を持ち廻つて、五ポンド十ポンドと小額づゝ契約をとつて歩く、で船體の分割が殆んど完全に行はれるので、どんな危險率の多い保險でも煙草一本噴ふ様にチヤンと片付く、この點がロイド最大の特質である。

◇— ロイド組合がその營業所をロイヤル・エクスタエンチ内に移したのは一七四四年、それ以來つい先配まで前後二百年間、よくも變苦しい店儲り生活を續けて来たものだが、兩三年來起上中であつたレイドン街の新ビルヂングが出来上り、本年(一九二八年)三月の舊形式には異くも兩階下の行幸齋をさへ賜つた、この隆盛の光榮こそは過去三百年ロイド繁昌史の表象であり、やがて多幸なるべきその前途への比類なき光明であらう。

◇— 白頭はロイド・ビルヂング



(103) 香港上海銀行

◇—香港上海銀行は略して香上銀行と呼び、支那では匯豐銀行といふ特別な名  
稱を用ひてゐる。

◇—その設立は一八六七年、今でこそ支那におけるイギリスの経済的侵略の機  
關となり、利権あさりの本體と目されてはゐるが、何も始めからそんな目的を  
以て設けられたものではない、その運籌には、同銀行の設立は國際的合併の形  
式により、英國の怡和洋行、ドイツのジームセン、米國のラスランド等がこれ  
に参加してゐる。それが固らずも内部の利害衝突によつて分裂し、その結果全  
體が英人の手に落ちるに至つたに過ぎぬ。

◇—凡そ海外發展の衝鋒に立つもの、或る國に在ては軍艦であり、或る國にお  
いては冒險家であり、一攫千金を夢みる浮浪者である、そしてまたどこかの特  
殊國では賣笑婦である、とさへいはれてゐるが、英國の場合には、例外もあるが、  
多くは大膽にして細心なる實業家と、その手に運用さるゝ巨額の資本であつた、

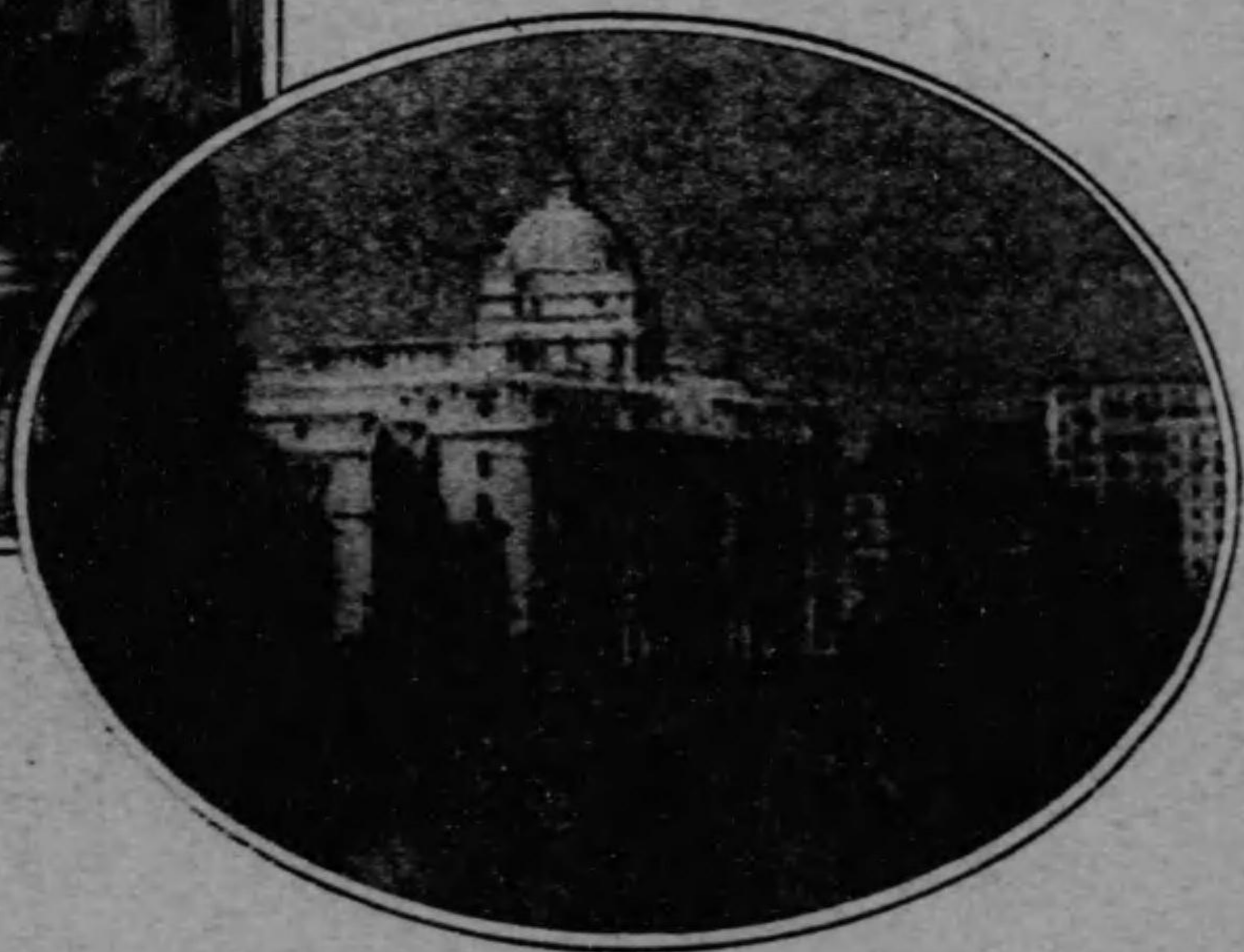
◇—南京條約後三十年、列國の利權獲得競争が漸く表面に現はれ來つた當時の  
支那において、匯豐銀行の如き有力なる金融機關が、既に英人の専行經營に附し  
た以上、それが直ちに利權運動の道具となつたのもまたやむを得ぬ勢である。

◇—それ以來、英國が中南支において獲得したあらゆる利權を對する敵  
通、支那鐵道借款の引受、鐵道材料の賣込、建築費に修理の一切工價請負等は、  
悉く匯豐銀行の手に上つて行はれ、更に政治借款に至つては過く一八七四年の  
六十萬金借債より、近くは一九二二年二千五百萬金借債の借款に至るまで、前  
後十數回幾千萬の資金が、その手を通じて電匯の支那へ注ぎ込まれたものだ。

◇—だがやせても枯れても匯豐銀行、銀行本來の使命を忘れて、年が年中支那の  
利権あさりに浮身をやつしてゐたなど、思つては貰ふまい、香港における香上  
銀行本店は、携込資本金二千萬鎊、兌換券流通高五千萬鎊に上り支那、印度、シ  
ヤム、馬來、日本等、東洋各地はいふに及ばず、ロンドンをはじめ殆んど全世界に  
散在する支店代理店を統べ、東西南洋の經濟的結合に資する所尠少でない。

◇—利權回復、英日貨抵制を一枚看板とする新支那の指導者達か、匯豐銀行を  
目の仇にして兌換の要求、預金の取付等を計畫することも屢々だが、四六時中  
軍閥と土匪の脅威を感じつゝある財産の寄託所として支那人自身の信用、匯豐  
銀行に過ぐるものはないのだから皮肉である。

◇—写真：香港の香港上海銀行本店(上)と上海支店(下)



## (104) 人絹興隆時代

◇—地質や気候によつて條件つけられてゐるいはゆる特産物の地位はなかくに偏るもので、欧米の産業界が進歩したつて、天然絹絲の生産における我國の絕對優越には第一本差させることではないと力んでゐるが、たゞ代用品といふ奴がこいつ少々紹介で、大抵は地質や気候などにはお構ひなし、技術と資本次第で無差に送り出されやうとある。

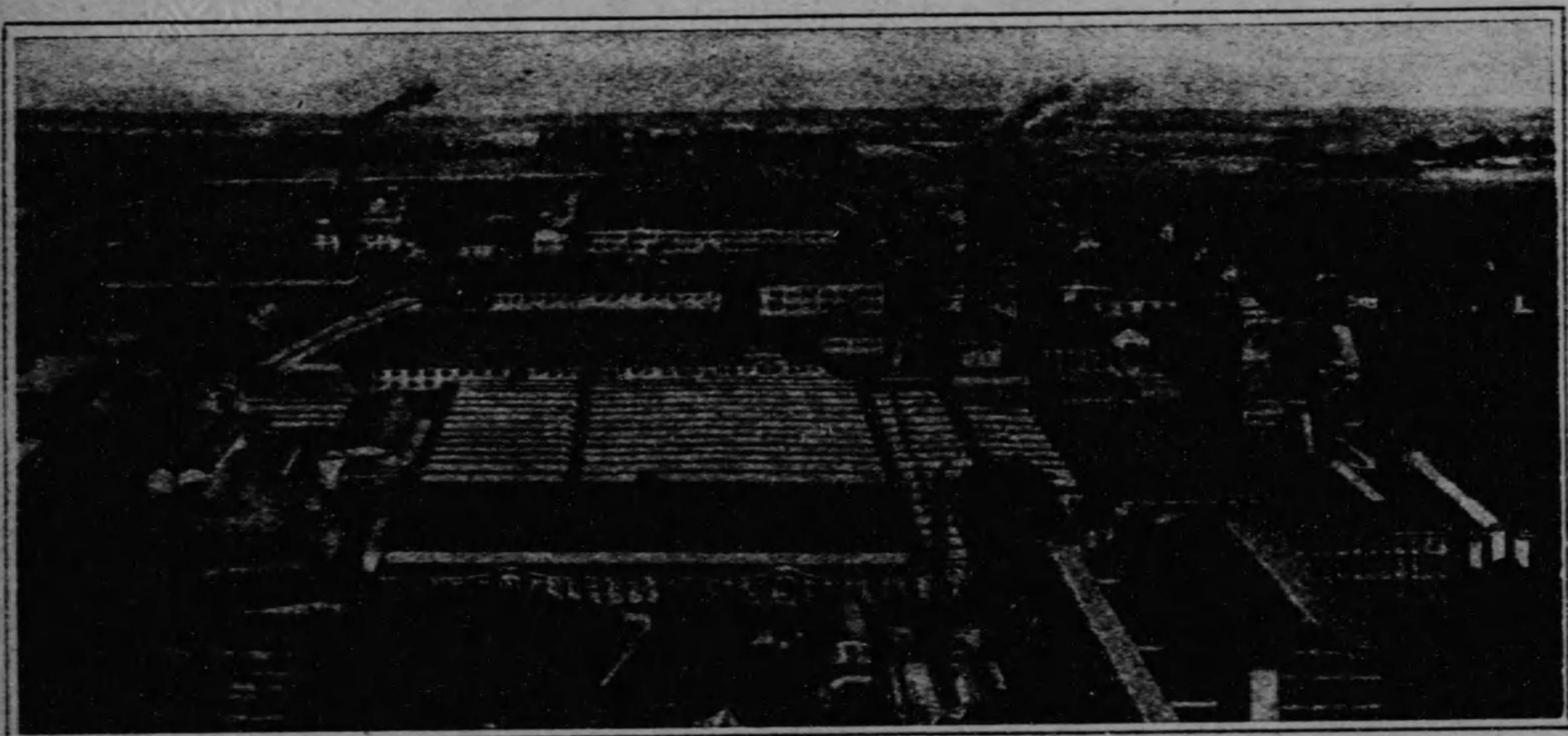
◇—實にや、過去三十年間、人絹絲の素晴らしい進歩發達は、二十世紀における新興工業の典型で、殊にこの國にとつては、永年衰き上げた生絲王國の安泰を脅すものとして気味の悪い存在ではあるが、少くとも現在では人絹と天然とは大した喧嘩にもならず、人絹はその獨有の特色によつて別に獨自の市場を開拓すべきものとタカをくくつてはゐるもの……さて世界の人絹業は？

◇—昨一九二七年度における人絹の世界總生産は二億六千五百萬封尺、既に天然絹絲のそれを遙かに超えた計算である、しかも時は今、正に興隆時代、人絹はまだ萌芽期にある、この後二億封尺の生産が三億になるか四億で止むか、世界の山々に原料木材の盡きぬ間は、人絹王國の版圖はますます擴大すべしと見て、

◇—まづアメリカではويسコーシス、インダストリアル・レイヨン、セラニーズの諸會社、英國でコートルズ、ドイツではグラントラストフ、何れも精巧の技術を誇り、巨額の資本を擁する國際人絹業の一流強士。

◇—わけてドイツのグラントラストフ人絹會社、有名なマックス・ミュラー博士のويسコーシス處理法特許の保持者として、久しく業界に君臨したものの、やがてこの特許は方々で複製沙汰を引き起しながら各國に傳はつて行つたが、その草分として今もなほ年産額一千五百萬封尺、實にドイツ總生産の六、七割を占め、天明一方の歐戰振りよろしく、英、米、佛の諸會社と相争ひ相結び、國際人絹界の基盤に盤石もない。顧みて要よ、わが業界者中、この國際工業界に働いて、國產の發展を爲ぐるの用意果して如何？

◇—写真はグラントラストフ人絹會社オーベルブルーフ工場



(105) 南阿スタンダード銀行

◇ 南阿は南法の露島である、年に四千萬鎊の資金の卵を生みながら、千萬鎊のダイヤモンドの葉をする、インドとともに英國のドル箱だ。七十年前の南阿といへば英本國から船でサツと四十日、電信は通ぜず、郵便一通に一シリングもかゝらうといふ、海岸から何マイルかはかすかなから事情も判るが、それより内地は文字通りの暗黒大陸、勿論資金の卵はまだ生まな

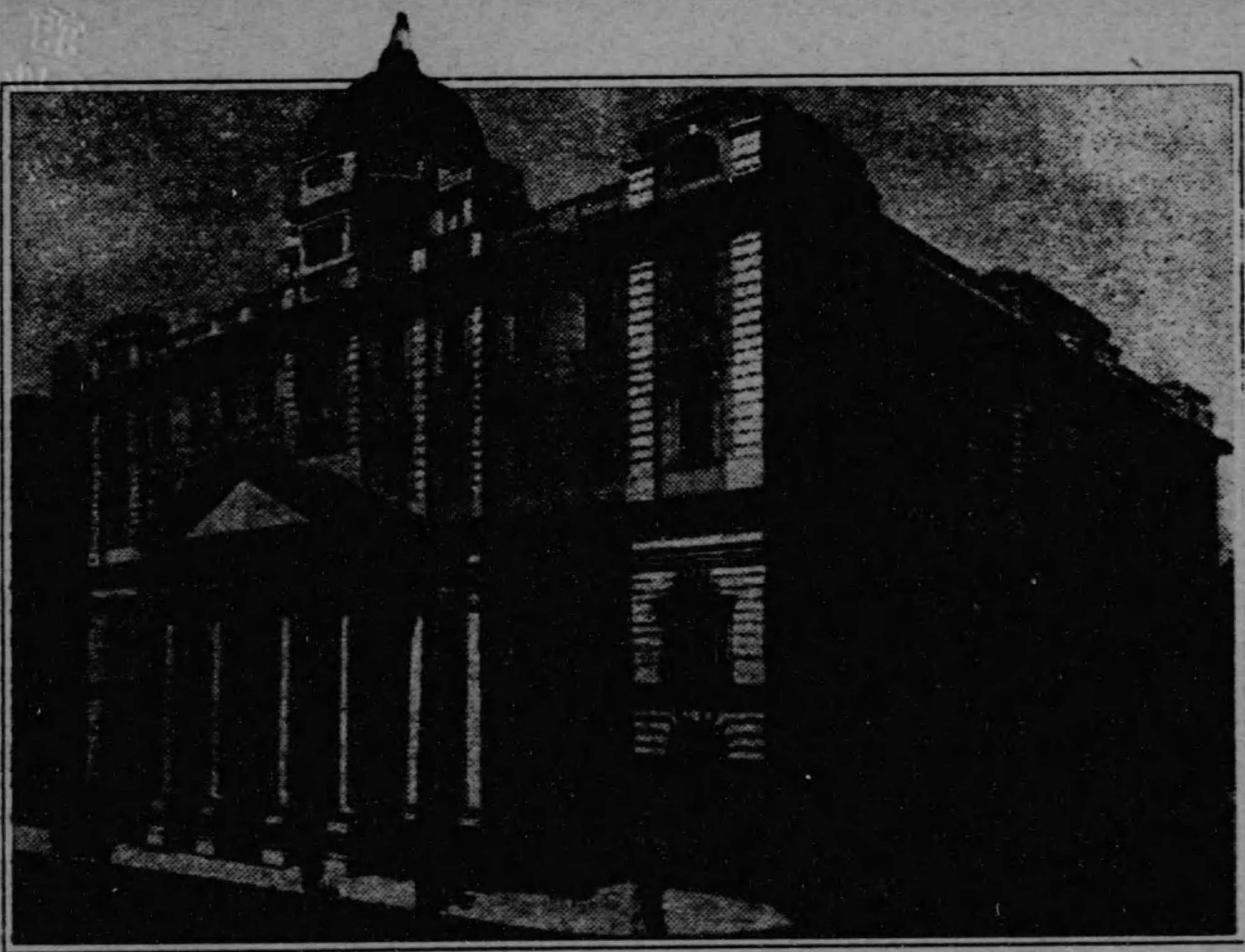
んだ。  
◇—それが今日はスツカリ新進の文明國になりすまし、鐵道の延長一萬五千マイル、金とダイヤモンドを除いても羊毛や農産物で輸出年額三千萬鎊、輸入もこれに伴ふ一大經濟地帯である、當時ヨチ／＼の露せ露島、今は自治領の牛耳をとり英帝國會議などでも頗りに我囀り立てゝゐる。

◇—スタンダード銀行はこの南阿における第一流のしかも最古の銀行で、設立は一八六二年、本店こそロンドンにあるが舞台はやはり南阿であり、更に南阿でもある、多らしい支店の好きな銀行で支店増設を以て唯一の發展策とし、現在の支店数は無慮三百數十、これが悉く増設の結果で、合併の記録としては後にも先にも一九二〇年のアフリカ銀行合併だけである、しかしこの支店發展主義も最近どうやら行詰り模様で、このごろの不景氣に引合はぬ店が續出し、近い中に閉店するはすのものもあるといふ。

◇—以前は兌換券發行權を有し一時は四百萬ポンド位の流通があつたが一九二〇年の銀行法により、聯邦内の發券權が新設の準備銀行に集中せられて以來、スタンダード銀行等は聯邦外に約五十萬鎊足らずの流通を見るに過ぎぬ。

◇—一九二二年ごろは五十萬鎊以上の利益を擧げてゐたのに、引續く三年は成績著しく振はず、三十萬鎊台に下つたこともあるが、一九二六年度には二億五千七百萬鎊の利益を見たとして喜んだ重役氏、直ちに一割四分の通常配當に、二分半の特配をつけたとは、東西軌を異にせざるもの、それ事業家の配當感か。

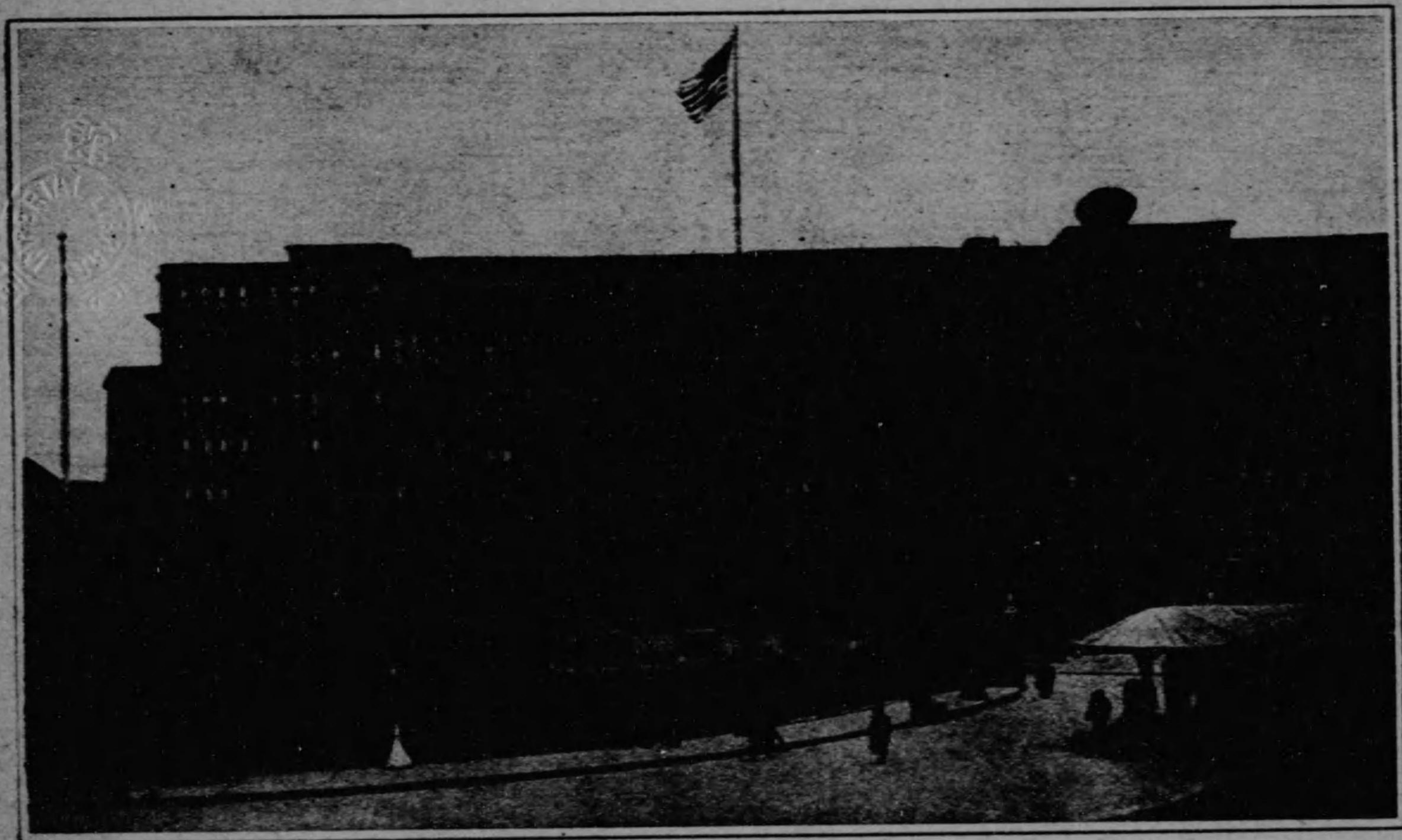
◇—喜興はケイプタウンの南阿スタンダード銀行



(116) **ゼネラル・エレクトリック**

◇—サン・ランプでお馴染みの米國は紐育なるゼネラル・エレクトリック會社、俗にジー・イーと稱してゐるがその工場は總坪數六百二十萬坪、床面積數七萬坪、従業員七萬六千人といへば、工場面積の大きき工場工の多いこゝでは確に世界一を誇るに足る。製品も、大は五萬馬力のタービンから小は電球附屬品まで、世界電氣技術の發達は即ち我社の歴史に外ならぬと嘯いてゐる、一九二六年度の考課狀によれば、固定資産の總額が一億九千二百萬弗、傍系事業に對する投資が千四百四十七萬弗、有價證券が千三百十六萬弗、その他二百五十六萬弗で、一ヶ年の製品販賣高三億二千七百萬弗、この利益金三千七百十萬弗、雜收入千二百六十萬弗であるが、株主配當は一割一分に止め一億三百十三萬弗を後期に繰越してゐるばかりか、一億九千二百萬弗の固定資産に對して既に一億四千五百一十一萬弗といふ巨額の減價償却積立金を有してゐる、精配常習の我電氣業者の見て以て垂涎措く能はざるどころであらう。

◇—寫眞はスキネクタデイのゼネラル・エレクトリック本社



(107) 馬來の錫

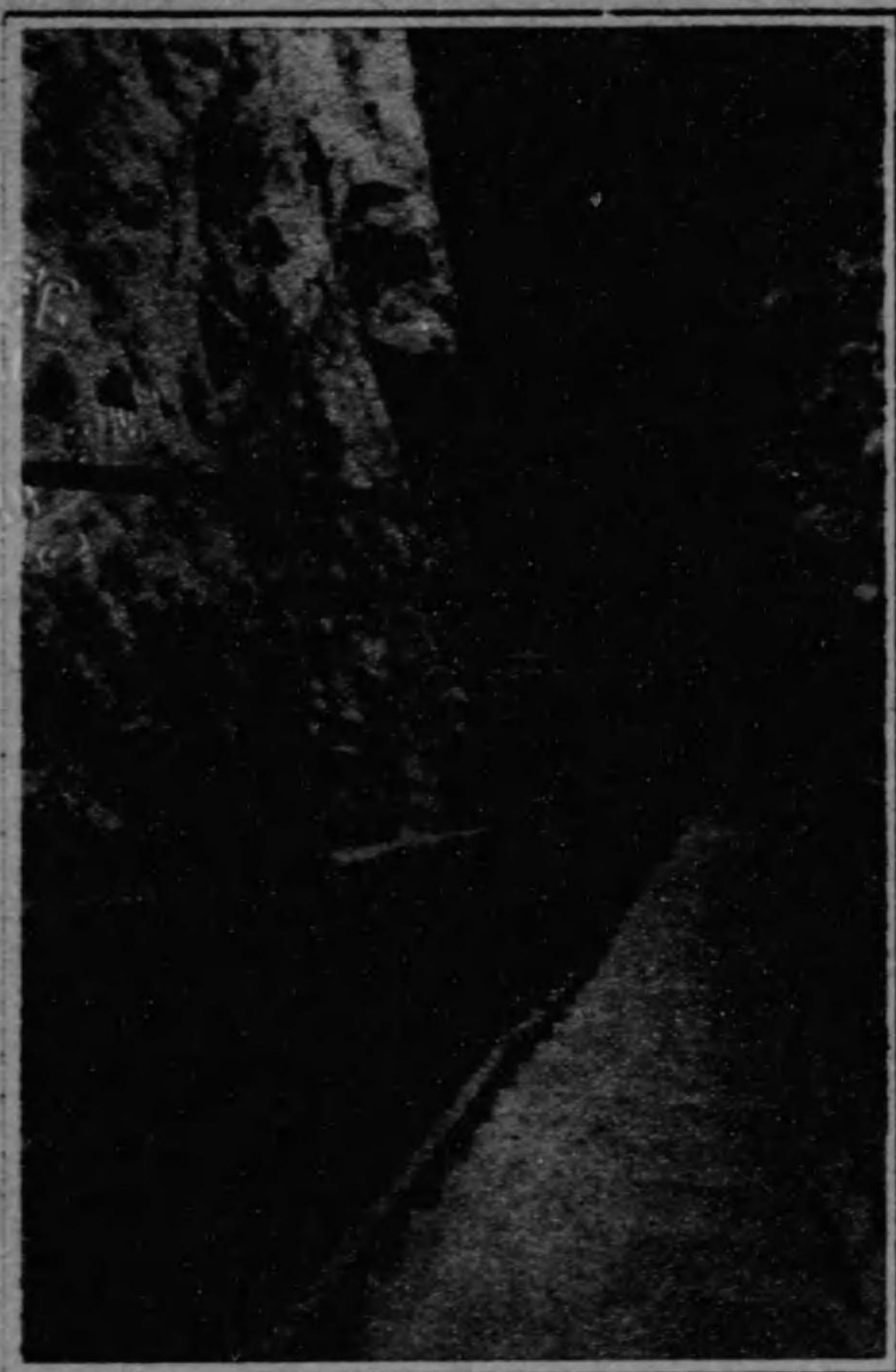
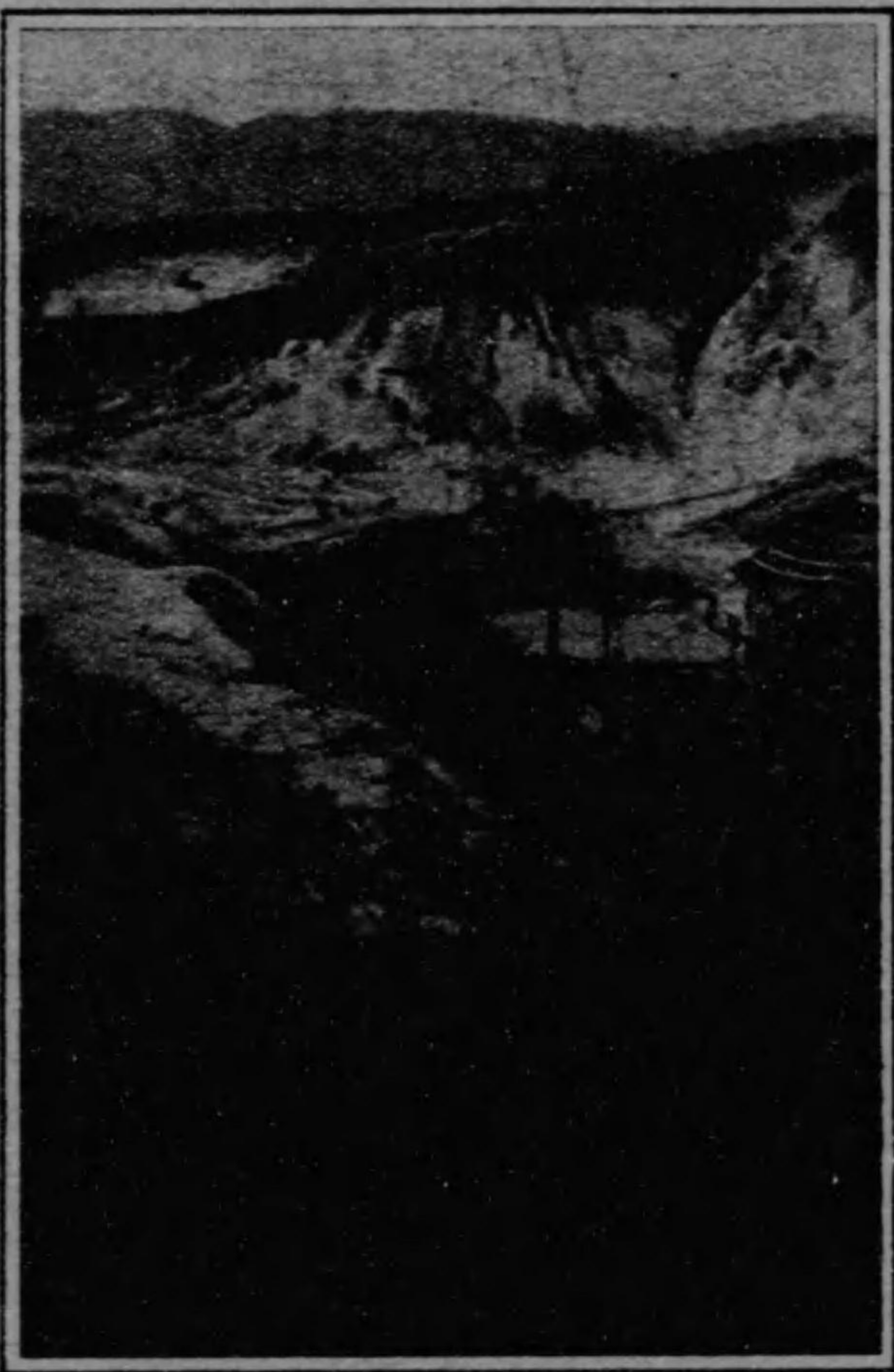
◇ 錫はゴムと共に馬來の主要物産である。一九二七年度における馬來聯邦の錫産額は五萬二千トンで、世界錫産額十五萬三千餘トンの三割以上に當る。馬來以外の錫産國としては錫蘭印度の三萬五千トン、ポリビヤの三萬三千トン、葡は達ふがシヤム、ビルマ、ニゼリア等であり、錫蘭の製煉能力からいへば海峽植民地の九萬八千トンが第一で、英國九萬二千トン、錫蘭印度二萬五千トン、米國二萬屯の順序である。

◇ 元來錫といふものはさう廣い用途をもつてゐるわけではなく、世界の錫需要は歐洲戰前の一九二三年において總生産額(約十三萬屯であつた)の丁度半分ぐらゐる。一九二五年にやつと三分の二に達したと言んだものだが、その後僅か二三年の中に電力工業の劇期的發達があり、錫の需要も遂にその生産に追いついてしまつた。

◇ ところで今度は錫の値段が騰つて來た。一九二六年のロンドン平均相場二八四磅は一九二二年のそれに比し二倍以上の騰貴である。次いでこの錫價の昂騰はその生産に對して新しい利権を興へた、馬來でも舊式採掘法が段々と改良されて、さきに錫石採掘(二〇回参照)に就て發明した水壓ポンプによる最新式採掘法も廣く利用されるやうになつた。

◇ 尤も最近アルミニウムが錫の需要を喰食して來たことや、新塗料の發明で鍍金用錫の需要が増じたことなどが、採掘法改良による錫産額増加と相俟つて、却つて再び錫相場を大分弱めたやうであるが、しかも錫供給の將來は、これらの事實によつて直ちに墜断出來るほど簡單ではないやうである。

◇ 寫眞は錫蘭山の坑口(左)と水壓ポンプによる採掘(右) 馬來



# (100) 物價編定委員會

◆ ワシントン會議の約束によつて、一九二六年の十月、北京に開かれた支那物價會議は、翌年七月に至る通八ヶ月の間「關稅自主承認」がどうしたとか「劣等穀率」がどうしたとか、生本を堅く保つてプス／＼やり續けてゐたが、どこのつまりは、表面はとにかく腹の底では「奥いものには蓋をして」おきたい列國委員、お國筋珍しくもない内亂をきつかけにサツサと會議中止の幕を下して引上げたものだ。

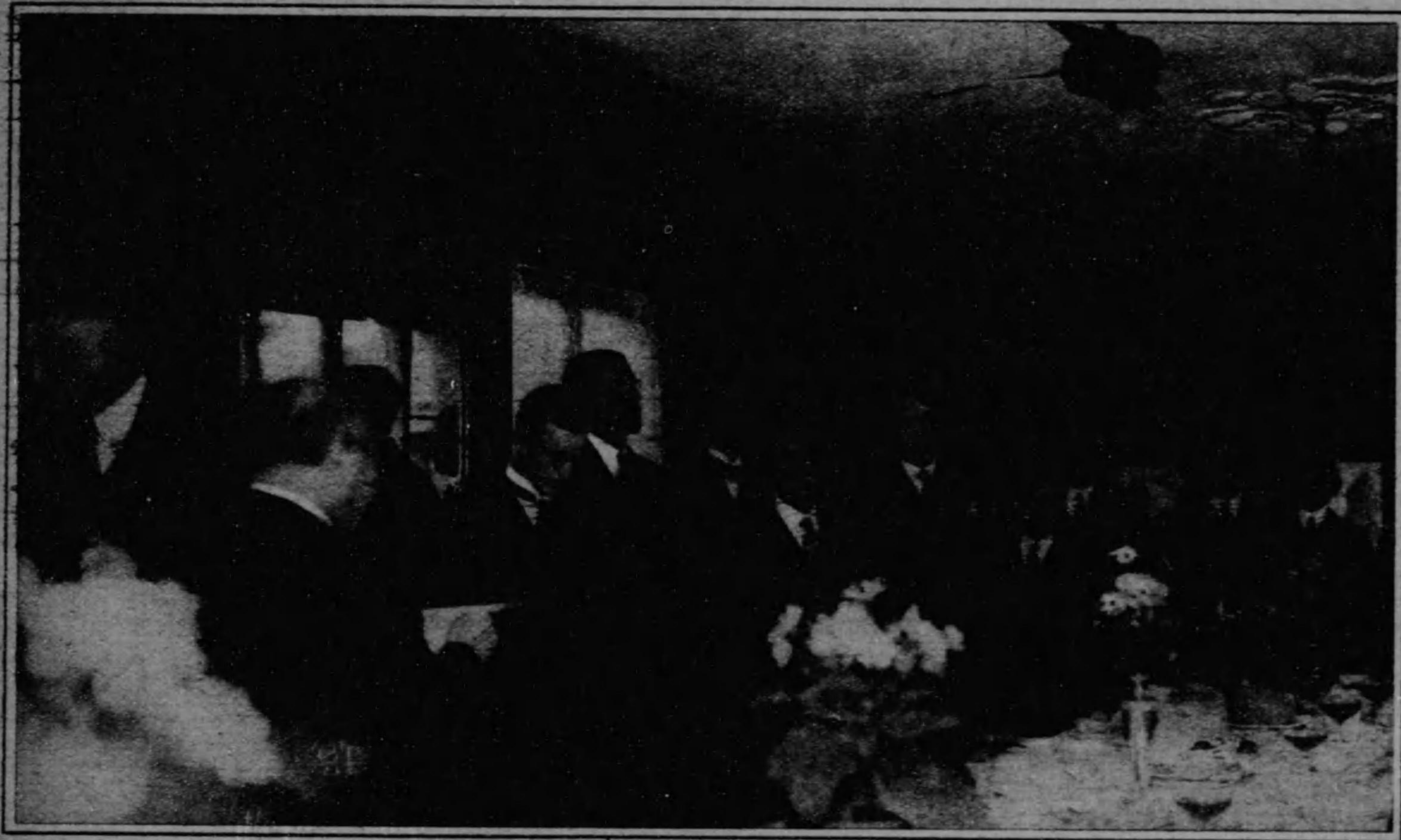
◆ 過去數十年にわたる支那物價問題の中心は最近起つた關稅自主、關稅行政機關等を外にしては常に現貨五分物價訂價問題であつた。支那が物價を許されてゐる關稅は一八四二年の南京條約以來五分であるが、同じ五分といつても物價には騰貴がある、この物價の高騰に伴つて穀率を上下しなければ現貨に五分とはならぬ。

◆ 然らば、その穀率の標準たる物價は何によるのが最も合理的であるか支那と列國との利害の衝突はこの點にある。支那としては従ふべく物價の高い關稅を標準にしたいと、これはいふのが當然だが、列國としてはさうはゆかぬ。で、結局デフチ上げられたのが物價編定委員會で、最近條約たるべき物價の調査決定に關して、各國委員が黃白とり／＼の論を集める次第である。

◆ 殊に、日本としては糧食品を主とする對支貿易に對して、如何にして歐米の糧食品と相對して有利の地歩を占めて行くかは、標準物價の點に於いて、或は又貨物分類の上において非常に難を感してゐる問題で、事實に見る昨一九二七年十二月一日北京に開かれた委員會でも、我が横濱委員は特にこの點を強調したと傳へられる。

◆ 關稅會議中絶以來、先般洪水に似てこゝに一年有半、その斯心の關稅會議さへ内外の記憶から大方は消へ去つた頃、物價編定委員會のみは、上海に北京に、絶えなんとして絶えざる命脈を續けてゐるが、何しろ御本意があつたのだ、斯向の物價委員の調査や研究も、お役に立つ日があるやらないやら。

◆ 事實は同委員會第二會議、向つて左端原領を購置せるは支那委員陳氏  
中央郵報は横濱日本委員







(110) ザンジバルの丁子

◇—ザンジバルと申したところで、日本人には餘り聞き馴れぬ名であるが、世界地圖を開いて見ると、アフリカ大陸の東部、印度洋岸、英國委任統治地タンガニカの首府ダレサラムのあたりに、恰も大牛の背にとまつた小島のやうな二つの小島、これが英國ザンジバル保護國である。

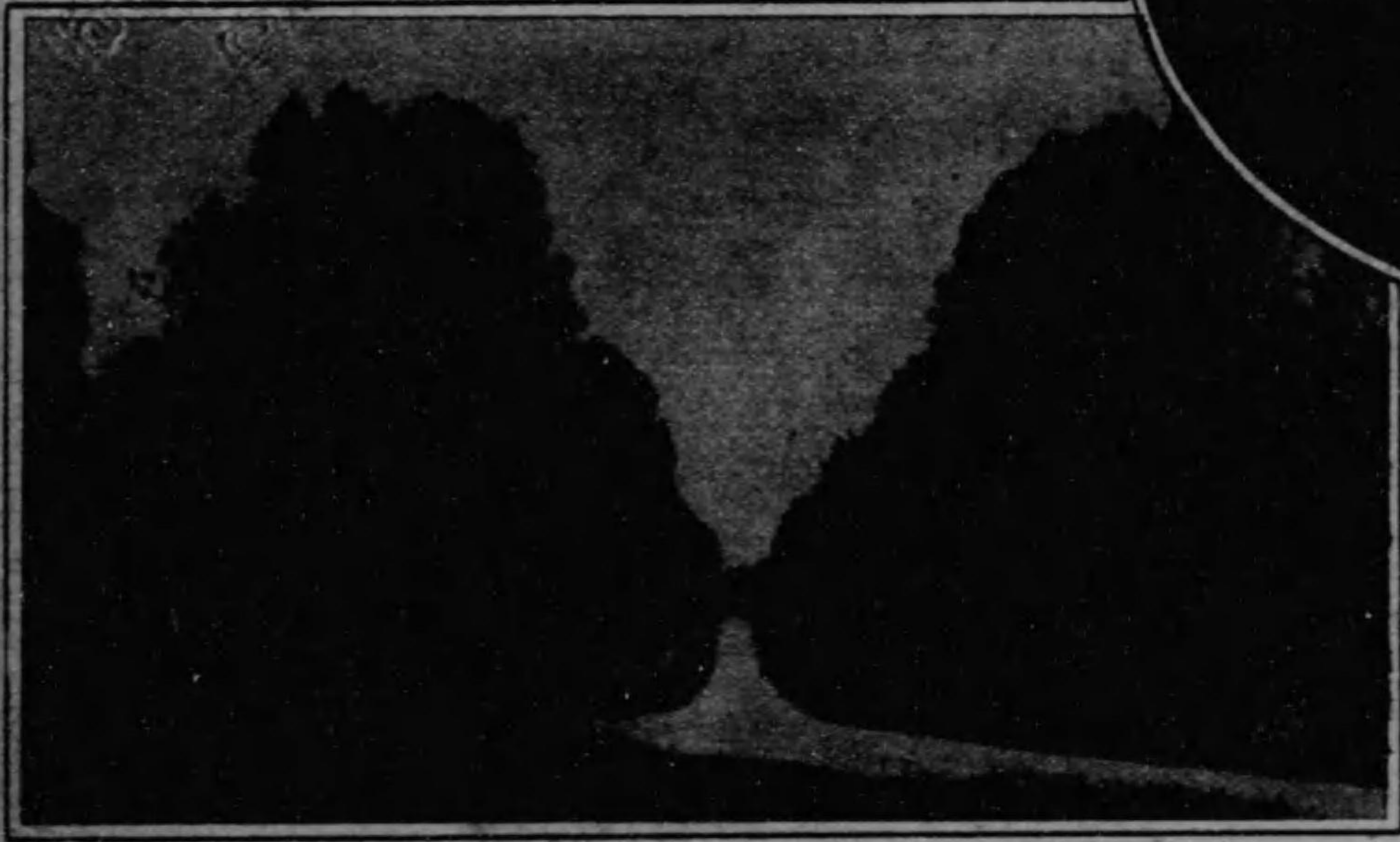
◇—もし詳しくいふと、大きい方の島はザンジバル島(面積六四〇平方哩)、小さい方がベンバ島(面積二八〇平方哩)で、共に名目上アラビア人の回教王(サルタン)の治下に屬し、英國の保護を受けてゐる。首府ザンジバルは中世紀以來アラビア人が占據して、東アフリカに覇を唱へ、アラビア文化の普及、仲買貿易の經營に努めたところ、殊に近世に入つては、歐米に輸出されたアフリカ黒胡椒の取引市場として、變テコな意味で世界經濟の舞臺に名を得たものだ。

◇—しかるにその後各國ともには奴隷の賣買を禁止し、しかも多年暗黒に閉ざされた東アフリカ地方も、それ程世界列強の所屬に歸して、此等の國々の新しい有望な植民地と化してからは、小島ザンジバルの經濟的レゾン・デ・テールの大半は失はれてしまつたものゝやうであるが、それでもなほこの小島が世界經濟の一角に名をとどめてゐるのは、それが丁子(タローダ)の供給地として今までのところ殆ど獨占的地位を占めてゐたからである。

◇—丁子とは丁子樹の實を乾したものを香料の原料に用ひられる。物の書によるとザンジバルの丁子栽培は一八一八年、レユニオン島から移殖したにはじまり、現在ではザンジバル、ベンバ兩島に達し、一九二四年度の統計では、兩島に於ける丁子樹植付反別は前者一萬六千エーカー、後者二萬二千エーカー、樹數兩島を併せて約三百五十萬本、その内樹齡百年に達するものも少くないといふ。その丁子の産額は世界全產額の九割に達し、主要輸出先は印度、英本國、佛、獨逸國で、人口僅かに二十萬人のこの兩島が、年々丁子及び丁子葉の對外輸出で八十五萬磅(約八百五十萬圓)を發してゐるといふから羨望らしいものだ。

◇—併し五來遙か東方のメダカ島が丁子樹の栽培を始め出し、漸くザンジバルに對して一敵國を形成しつつある一方、ザンバウルそれ自身でも、栽培者たるアラビヤ人及びアフリカ土人の昔ながらの無智、労働者の不定と資金調達困難等、次第に新業の行結りを感じて来たといふことである。永く東アフリカの仲買貿易、世界の中心奴隷市場として榮え、丁子の獨占供給地として繁昌したザンジバルもいつまで國際經濟の舞臺に舞り得ることか。

◇—寫眞はザンジバル港の街(上)と丁子樹のプランテーション(下)。



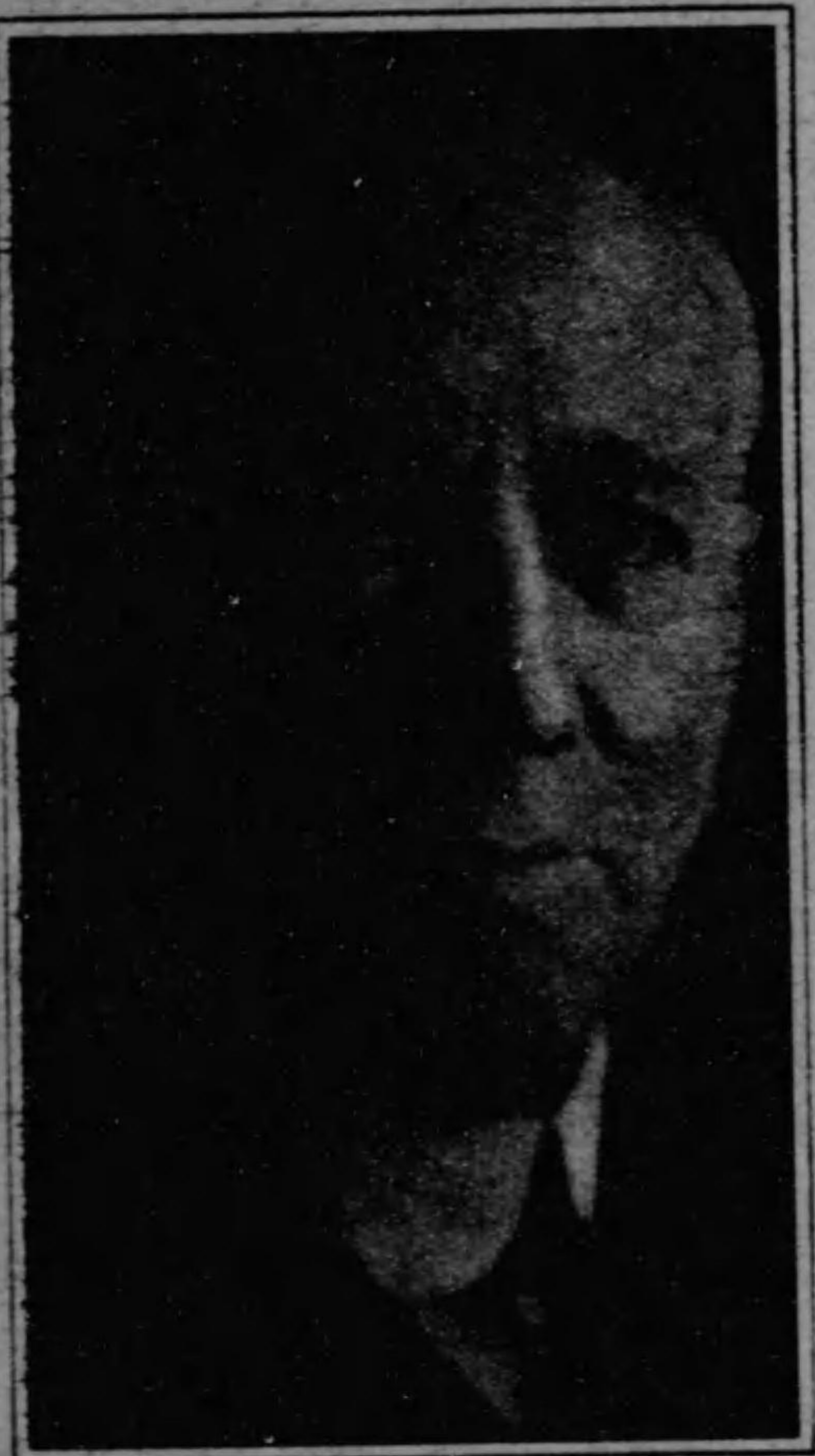
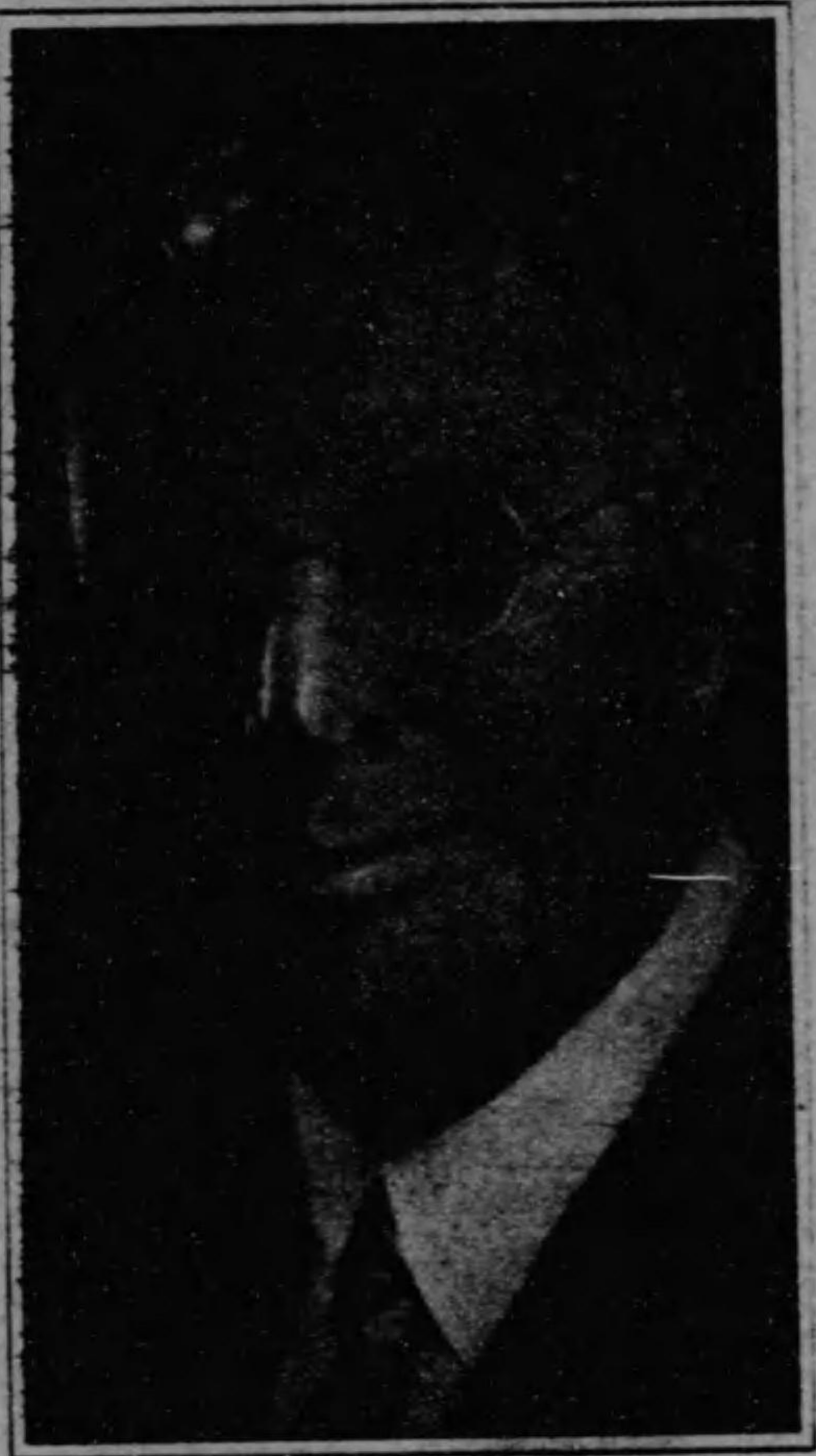
意味でアメリカ全領の銀行を代表する中央銀行であるとして、一九二八年の三月二十八日現在の同行の金保有高は九億三千八百萬兩、再購手形一億五千萬兩、兌換券流通高三億四千萬兩である。

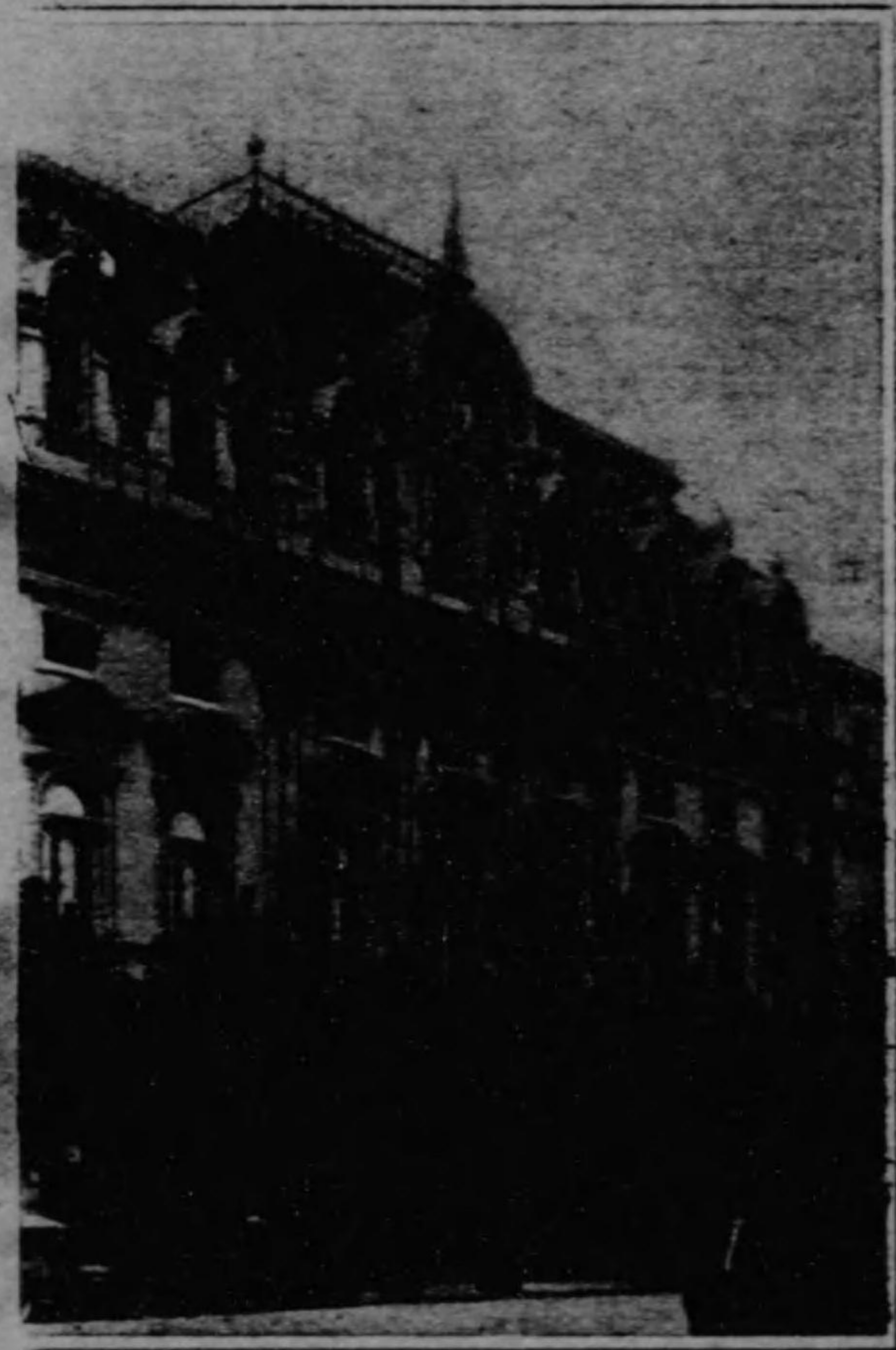
◇—準備銀行制度は一九二三年に始めたもので、實業日もなほ浅いし、元來が地方分類的な米國特有の體裁から生れたものだから、何處の國でも成功するといふ譯のものではあるまいが、とにかく米國では歐洲戰中戰後の試練時代を経てこの制度は、今や世界に誇るべき金融組織の新典型としてその存在を確立されたかに見える。米國財界今日の盛況もこの制度が興つて力ありといふ人があるが、必ずしも誤つた見解ではあるまい。

◇—包頭は銀青聯邦準備銀行

## (112) 首のすげ替へ

- ◇ 昨一九二七年九月、シカゴ準備銀行の割引率引下回りにからんだ聯邦準備局總裁の代替りは、相場好況にだるんだ米國財界の未だ神祕をヒリッとした以外に種々な意味からいつて「經濟大國」近來の好話題であつた。
- ◇ 當時全米十二の聯邦準備銀行は三年の久しきにわたつて一律四分の割引率を維持してゐたが、一九二七年七月末から九月初めにかけて、相場後してこれを三分五厘に引下げた、といふと立派に聞えるが實は兩三年來かつてなき金融の緊縮さに驚いた聯邦準備局が、露骨大いに勉めた結果で、各行とも不承々々長いものに巻かれたといふのが真相らしい。
- ◇ ところがこゝにその本山準備局の御達しを馬耳東風と默殺して、依然四分と大きく構へた横道者か、ミネアポリスと桑港の兩準備銀行、巻かれては見たが夜襲人も不見識で、「準備局が割引率の変更を強請するのは準備命令に違反する越權行爲だ」と突つ張つて見たのがシカゴ準備銀行だ。元來あれだけの廣さを有するアメリカのこと、東部と西部、中央と地方との間には種々利害の衝突がある、感情問題もあれば政治的地盤の關係もある、ニューヨーク中心の金融制度が非難されてゐるのは準備制度制定以前からのことだ、シカゴの突張りがニューヨークへの面當てに外ならぬ。
- ◇ 一がこの突張りが案外きいて、スタタモンダの末九月二十一日、D・B・クリンガーは準備銀行總裁の椅子を投げ出し、後任はミネアポリス準備銀行頭取B・A・ヤングに決つた、彼は本年四十五歳、ミシガン地方の銀行を廻つた末、一九一七年ミネアポリス銀行に入り、翌々年には既に頭取の地位を得た程のされ者。
- ◇ 殊にはミネアポリス準備銀行が、最後まで割引率四分を維持してゐた横道組の張本である點など、随分度内で、ヤングの總裁就任を以て、東部に對する中部西部の勝利と見る向もある。
- ◇ 写真は(左)頭取クリンガー氏、(右)ヤング氏

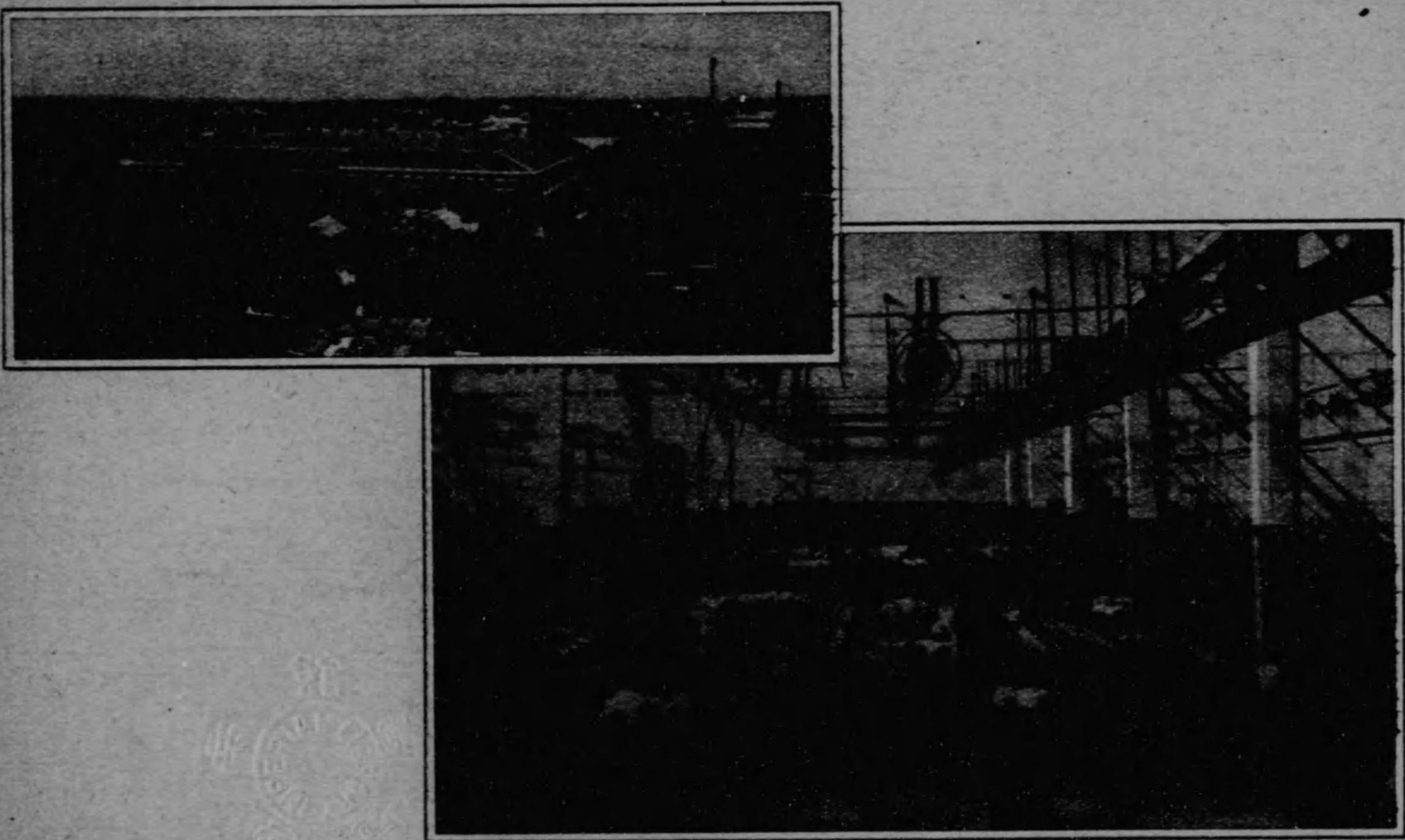




(110) 漢口の泰安紡績

◇——紡績業者の對支投資は上海(約一億八千萬圓)を以て第一位とし、お次が青島(約四千三百萬圓)で漢口(約五百萬圓)は天津(約六百萬圓)に次ぎ投資金額に至つてはズット下るが、事業として氣を吐く點は同一である。殊に漢口の泰安紡は支那輿地唯一の邦人紡で、大正十三年九月の創立。漢口礮口外宗廟上首にあつて資本金五百萬圓、二千八百名(女工二千名、男工八百名)の支那人職工が二萬四千餘の紡機と三百台の繰繰をめぐつてふんだんに働いたものだが、一九二六年秋、國民軍の武漢侵入以來、政府の分合、北伐のゴタ／＼で、工場管理の要求がこび出したりして致命的の打撃を受け、久しく無期休業の状態を續けて來たが、南京政府の基礎や、定まり、長江筋の秩序も漸く回復した昨年末、工場再開の運びとなり現在は従來通り平和に操業を續けてゐる。

◇——寫眞は泰安紡績の全景と工場内部



はしない、その上、ハンブルグは自由港である、荷物の積込、積卸し保管の設備に缺くる所は勿論ない、しかも水路による運送物の荷物は本港から直接に河川用の汽船に運さるゝ場合が多いといふ。

◇ これ等埠頭、棧橋その他設備の管理は州政府の手にあるが、チットと船政院でなく、全然私經濟的經營法によつてゐると、さう自便らしく取扱されてゐる。

◇ 写真はハンブルグの埠頭

(116) 英國の五大銀行 (一)

◇—日本でも最近、特に昭和二年の金融恐慌以来、資金の大銀行集中の傾向が著しくなつた結果、一渡銀行の輪流が明瞭になり、五大銀行なる言葉が廣々用ひられる様になつた。三井、三菱、安田、住友、第一の五銀行を意味するんださうだ。

◇—ところで英國のいはゆる「ビッグ・ファイブ」になると、五大銀行の本家本元だけに一段と柄が大きく、その内容は(一九二七年末現在、單位千ポンド)

銀行名	資本金	積立金	預金	總資産
バークレイズ	一五、八五八	一〇、二五〇	三二七、八二二	三五七、三三二
ロイヤル	一五、八一〇	一〇、〇〇〇	三五七、一八九	四二八、二四〇
ミッドランド	一二、六六五	一二、六六五	三七四、三七五	四二八、四五二
プロヴィンツ	九、四七九	九、四七九	二七三、五九七	三〇五、四四四
ウェストミン	九、三三〇	九、三三〇	二八〇、六一二	三三三、〇五二

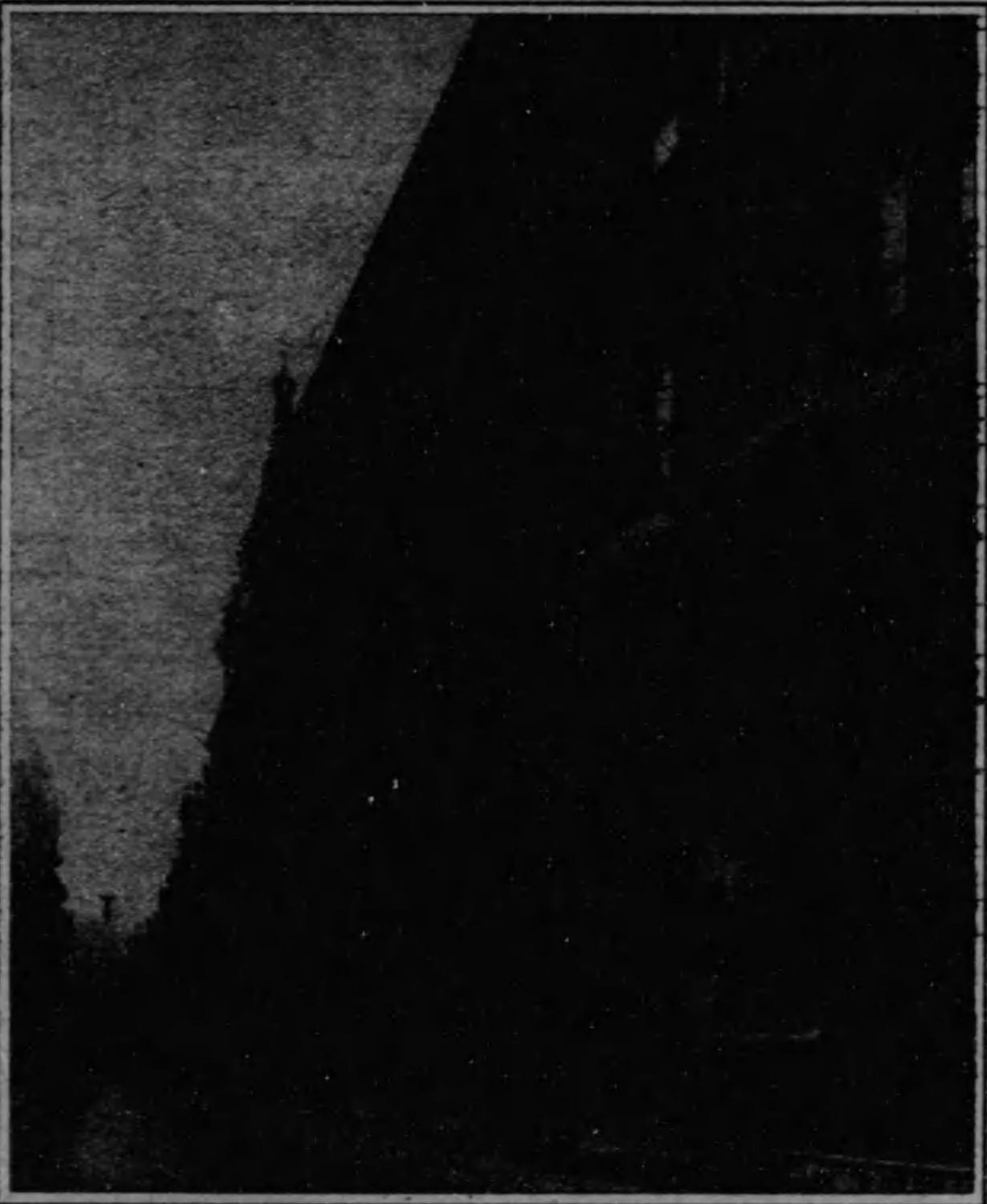
ポンドは圓の約十倍だといふことを忘れないやう、且つ積立金が何れも殆んど資本金と同様に達してゐる點を注意すれば「ビッグ・ファイブ」の巨大さと確實さについての判断を誤る虞れはあるまい。

◇—一八六二年の會社法(始めて有限責任の株式組織を認めたもの)が出来た際、英國にも一時銀行建設の時代があり、こゝ、かしの田舎町にまで、高利貸に毛の生えた様な小銀行がウヨウヨしてゐたものだが、幾度の恐慌に一部分は整理され、幸ひ残つたものも確實な銀行に合併し進んで今の英國には本店銀行は數へる程しかない。

◇—「ビッグ・ファイブ」なども本年にわたるこの合併の結果今日の大を致したものの、その合併後、バークレイズが四十一行、ロイヤルの如きは五十三行に及んでゐる。而もこれ等の被合併銀行自身また合併によつて出来たものが多いので、先の先まで數へ立てると幾分な數に上らうといふ。

◇—バークレイズ銀行 その多くの發端を尋ねれば一八四〇—五〇年ころロンドン手形交換所を組織してゐた二十五銀行の一つであつたバークレイ・ビーヴァン・トリットン銀行に由来するといふからかなり古いものだが、株式組織としてのバークレイズ銀行の歴史は、釋々こゝ三十年あまりに過ぎない。従つて合併による影響も、「ビッグ・ファイブ」の他の四行に比してやゝ立派の氣味があつたが、現在その間に立交つて大した特色のない成順を續けてゐるのは主としてその特色たる地方分權制——地方大支店に比較的廣汎な權限を認めた獨特な組織の力であるといふ。海外特にアフリカ、西印度あたりとの關係も密接だ、フランスにも同名の子銀行がある。

◇—寫眞はロンドン、ロンバード街のバークレイズ銀行本店

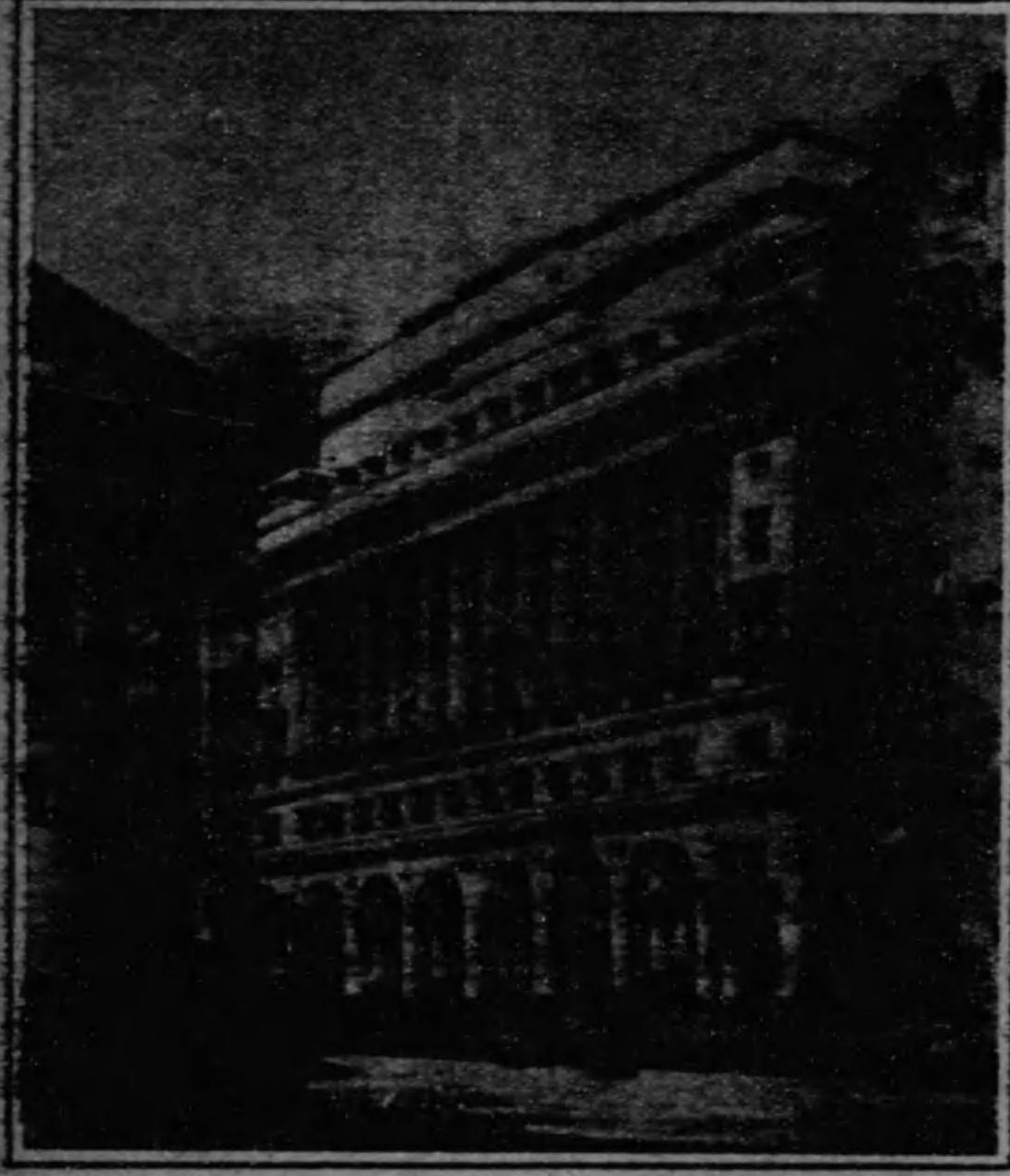
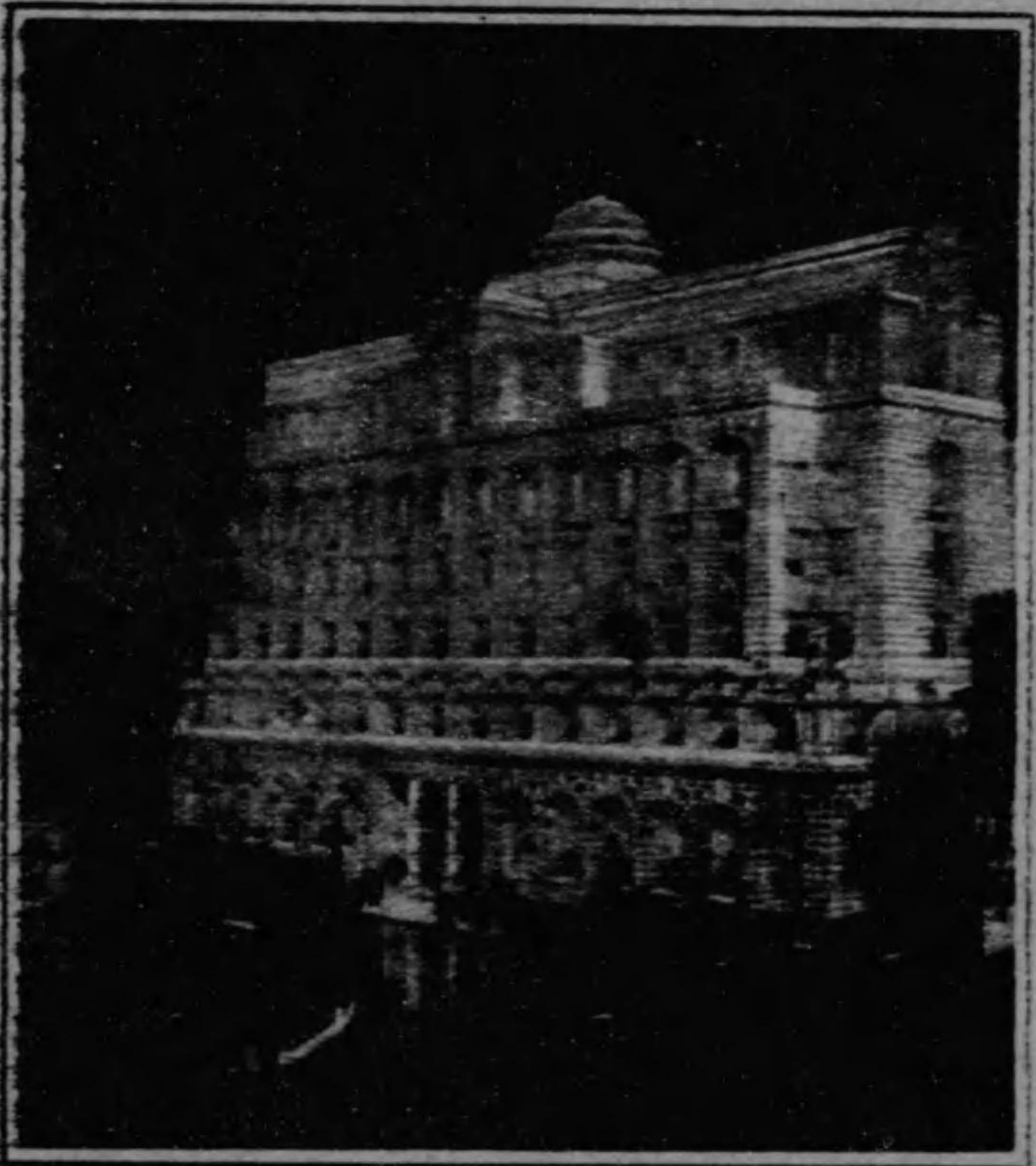




(117) 英國の五大銀行 (二)

◇ロイツ銀行 ロイツ銀行なる現在の名義は一八九九年に定まつたもので、それ以前はロイツ・バーネツ・エンド・モザンケツ銀行、その前身はバーミンガムのロイツ商會である。ロイツの合併事業は一八六五年ころから始つた。一八八〇年以後の二十年間は、この合併熱の最高潮に達した時代で、一九〇〇年の如きは一年に六個からの銀行を吸収したさうだ。こんな風で國內の仕事が比較的早く一段落ついたので、大規模に海外に目を轉ずる餘裕を得、一九一二年のペリ、アームストロング商會(今のロイズ・アンド・ナショナル・プロダクションアル外國銀行)の買収から、一九三三、五年にかけてのコックス商會買収によるエチプト進出まで、中絶を遂げての活動は、イタリヤ、東洋諸國、印度、アフリカ、ニュージラランドと、目星しい地方を片々増からその巨手に巻き込んでしまつた。

◇ミッドランド銀行 ミッドランド銀行もバーミンガムに生れた、一八六二年の會社法發布直後のことで、個人組織から成長した諸銀行と違つて生群の株式銀行だ。バーミンガム・ミッドランド銀行の名で久しく中部及び北部イングランドに經營の主力を注ぎ、一八九一年、セントラル・バンク・オヴ・ロンドンの買収によつて倫敦に支店が出来、名をロンドン・アンド・ミッドランド銀行と改めて後も、かつてこの方針を變へなかつたが、一九一八年、ロンドン・ジョイント・ストリート銀行を手に入れたからは、僅れの官廳に、よく、証券も買つたのである。



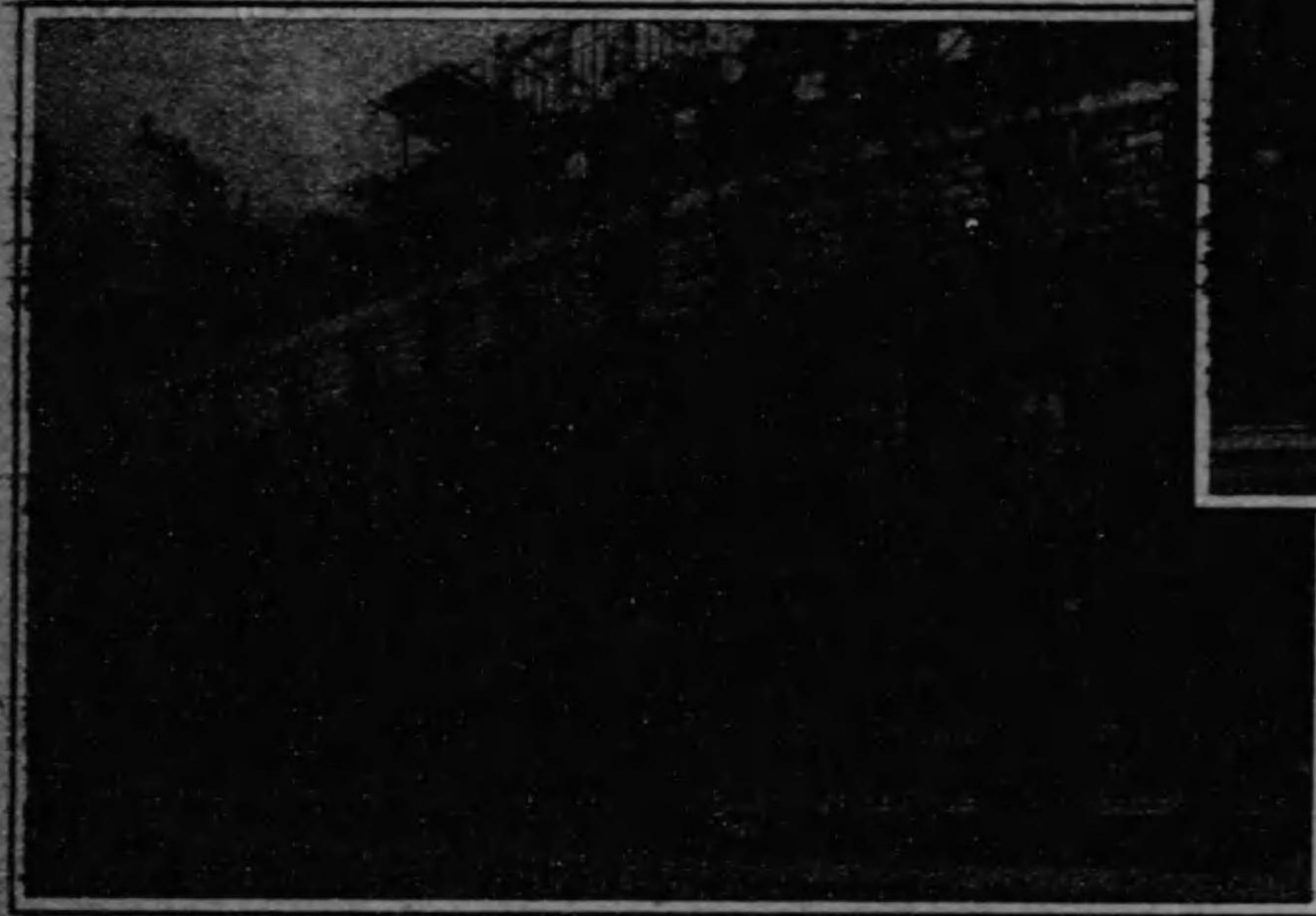
### (10) 英國の五大銀行 (三)

◇ ナショナル・プロヴィンシアル銀行 産業界に勢力の氣を起された北方民族は、やがて南下して南國の既成文化を征服すると、これは歴史上の常軌の一つださうだ。尤も支那では南方諸民族が農墾に着手し、北京を取り天津を奪ひ、北軍を東三省に追ひつめたところ(一九二八年六月)この原動力の豊富さも少々怪しいが、そこは高麗理窟が理窟にならぬ支那のこと、大目に見て貰ふとして、少くとも本國の銀行の歴史においては、この原動力の豊富さを認め、中流及び北流イングランドの下流部を極度に成長した。そしてこの北國時代八十五年間に一億二千二百萬の資金と、七百八十九箇の支店とに、遙かぬ基礎を確立しておいて、やがて一九一八年に遂にロンドンに墮下してユニオン・オブ・ロンドン・アンド・スミス銀行を併せ、ピシヨップスゲイトにドワカリと民を驚おた。ミッドランド銀行とよく似た歴史、ロンドン入りの年まで同じなのも面白い。

#### ◇ ウェストミンスター銀行

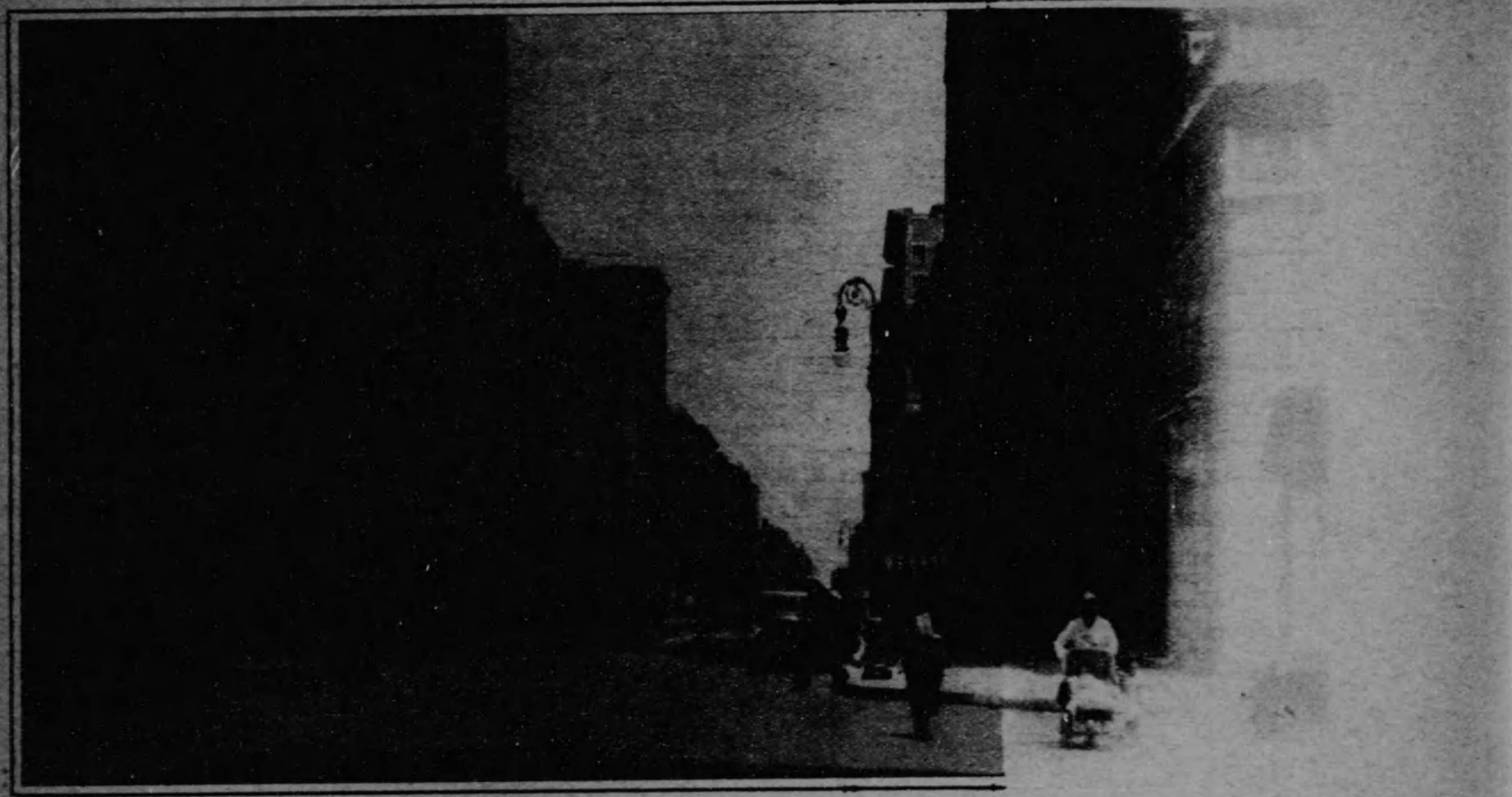
最後はウェストミンスター銀行だがこれはいよいよ倫敦の子である。ロンドン・アンド・ウェストミンスター銀行に、ロンドン・アンド・カウンチー銀行といふ双児の様な名をもつた二つの銀行が、一九〇九年に合同して新銀行を造り上げた。その營業區域は主としてロンドンとその近郊であつたが、一九一七年になつて北部地方へ發展の必要上、當時ウォーリンダトンにあつてこの地方に廣い地盤をもつてゐたパイル銀行を買収し、その結果出来たのがロンドン・カウンチー・ウェストミンスター・アンド・パイル銀行、すなはち今のウェストミンスター銀行で、支那と同じく歴史原動力の無窮だが、展開あれば例外あり、それもまづよいとして、氣になるのは「ピッダ・ファイヴ」中、他の四行の資金が相も變らず毎年順調な増加を示してゐるにも拘らず、ウェストミンスターの資金ばかりは、一九二七年末において、五百萬に足らずの減少になつてゐることで「ピッダ・ファイヴ」の各行のためにも、一層の努力を希望せざるを得ない。

◇ 眞實はロンドン、ピシヨップスゲイトのナショナル・プロヴィンシアル銀行本店(上)とロースベリ街のウェストミンスター銀行本店(下)



### ○ ニューヨークの長者街

- 一人の儲け合を決定したつて腰のチャックにもならないが、儲けもない者の茶ばなしと、マア聞いて驚き度い。
- 世界の金儲けを以て誇る米國に、百萬長者、言ふ通りに百萬以上のお財庫を持つたものが一個どの位あるかといふとは、一萬五千人位、でかうずかになつては「長者」の稱號を遺することおびたしいといふので、今度は腰帯を束へて毎年百萬以上の儲けをポケットにおち込むものが数人あるかと驚かして見ると(一九二六年)
- ▲百萬以上—二百萬—一五八人 ▲二百萬—三百萬—三三人 ▲三百萬—四百萬—一四一人 ▲四百萬—五百萬—九人 ▲五百萬以上—一四人
- この數で二百二十八人、さすがに目眩しいものではある。
- 一八一五年ニューヨークで長者と稱せられたもの四人、しかもその所産財產は二十萬磅に過ぎなかつたが、一八五五年には「百萬長者」が二十七人、現在ではそれが約三四千に増加してゐる。そしてこの連中大部分の集積といふのがいはゆるニューヨークの長者街パーク・アヴェニューである。
- 「パーク」の光に照んだ狂気の都ニューヨーク、その喧嘩の街々をよそにして、こゝパーク・アヴェニューばかりは電車も走らず、乗合自動車も通らず、豪華な舗道の兩側に立派な荘な贈天幕アパートメントは年收何十萬何百萬といふ富豪界の大國庫、現金、銀代々の丸持などに占められ、その家計は一室年千五百萬内外が普通で、それ以上は堅固がない、銀と黄金で飾つた酒殿一室の閑代が年三萬五千磅などといふ
- パークのな話はやめにして、この長者街三千の丸持家族が一年間に費す家賃家具代五千八百萬、自動車代千六百萬、女の着飾代が八千五百萬、その化粧費代八百萬、お茶會費五百萬と誰か計算したか知らぬいが、ひま人もあつたもの、茶ばなしにしてもチト馬鹿らしさが過ぎやう。
- 長者は長者街パーク・アヴェニュー



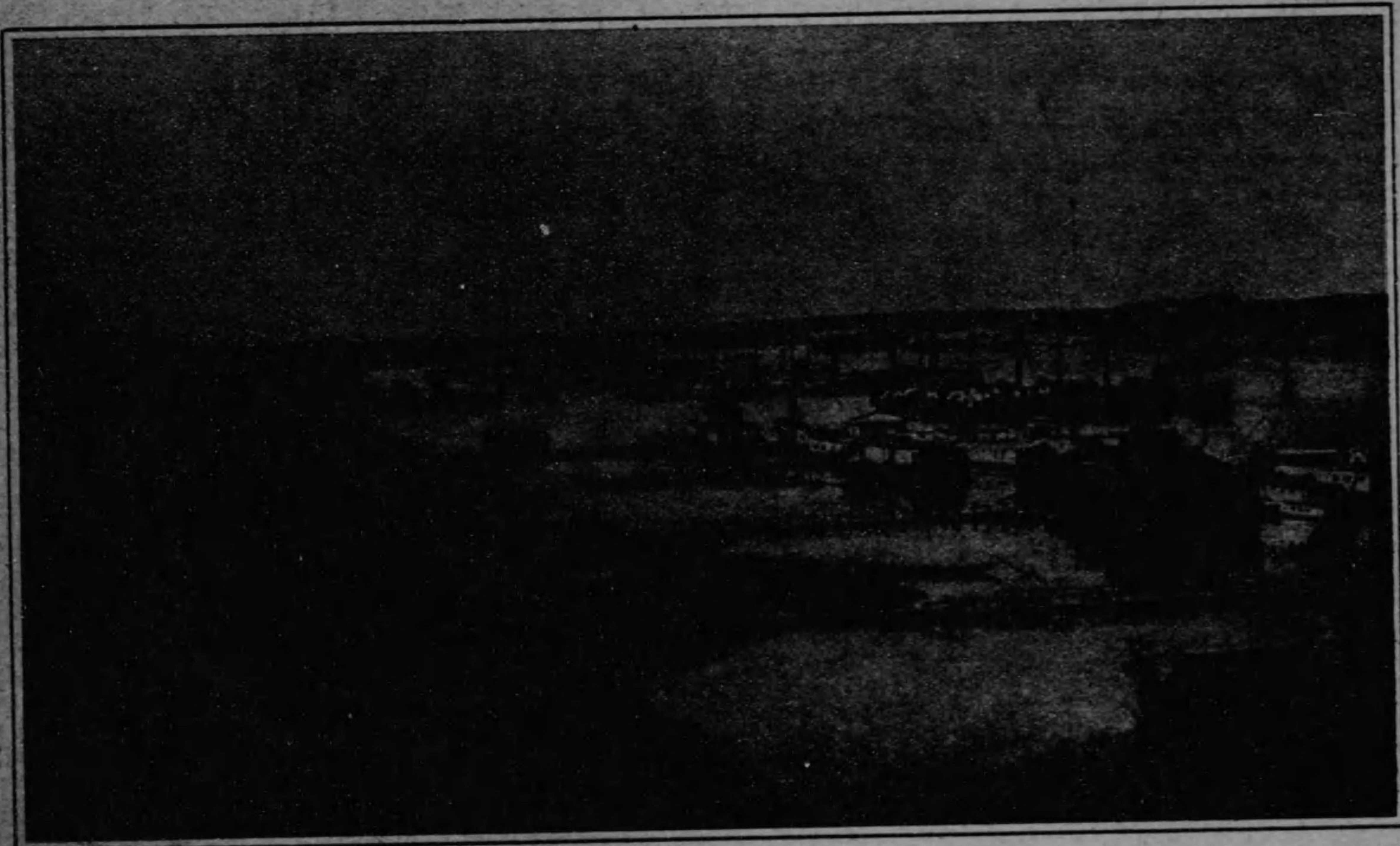
## ④ ヴォルガ河

◇「われ等の母」ミロシヤ人に懐かしまれるヴォルガ河は、民謡や傳説や物語りに豊かなばかりではない、これこそは經濟ロシヤの大動脈、歐露の西北から東南にかけて蜿蜒三千五百キロメートルを廣々滑らかにゆるやかに、流れ來り流れ去る間、東西から流入する大小幾多の支流を合せて、沃土黒地帯を過ぎてカスピ海に注ぎ入るまで、ロシヤの人ミ土に與ふるヴォルガの愛しきは正に「われらの母」のそれである。

◇「」わけて春の航海季節のヴォルガに、穀物、木材、石油、各種製造品を滿積したあらん限りの大小船舶が出揃つて交錯する様は蓋し壯麗である。沿岸にはルイビンスタ、ニジニ・ノヴゴロド、サラトフ、アストラカン等の大きな都市が、直接にはヴォルガの水に養はれ、更には鐵道の連絡に助けられて何れ劣らぬ繁榮を競ふ。

◇「」戦前の一九一三年度のロシヤ全河川の總輸送貨物は約三十億ブードであつて、その半分十五億ブードがヴォルガに於ける輸送であつて事實からみてもその絶大な効用が分かる。しかし大戦の結果交通及び生産機關の破壊によつて一九一九年度の如きは一億七千二百萬ブードに減つてゐるが、經濟狀態の恢復ミにも、近年はその輸送貨物も漸次増加し戦前の約八割に達してゐる。

◇「」寫眞はルイビンスタ市の埠頭場におけるヴォルガ河上の穀物商船隊



(121) カニ工船

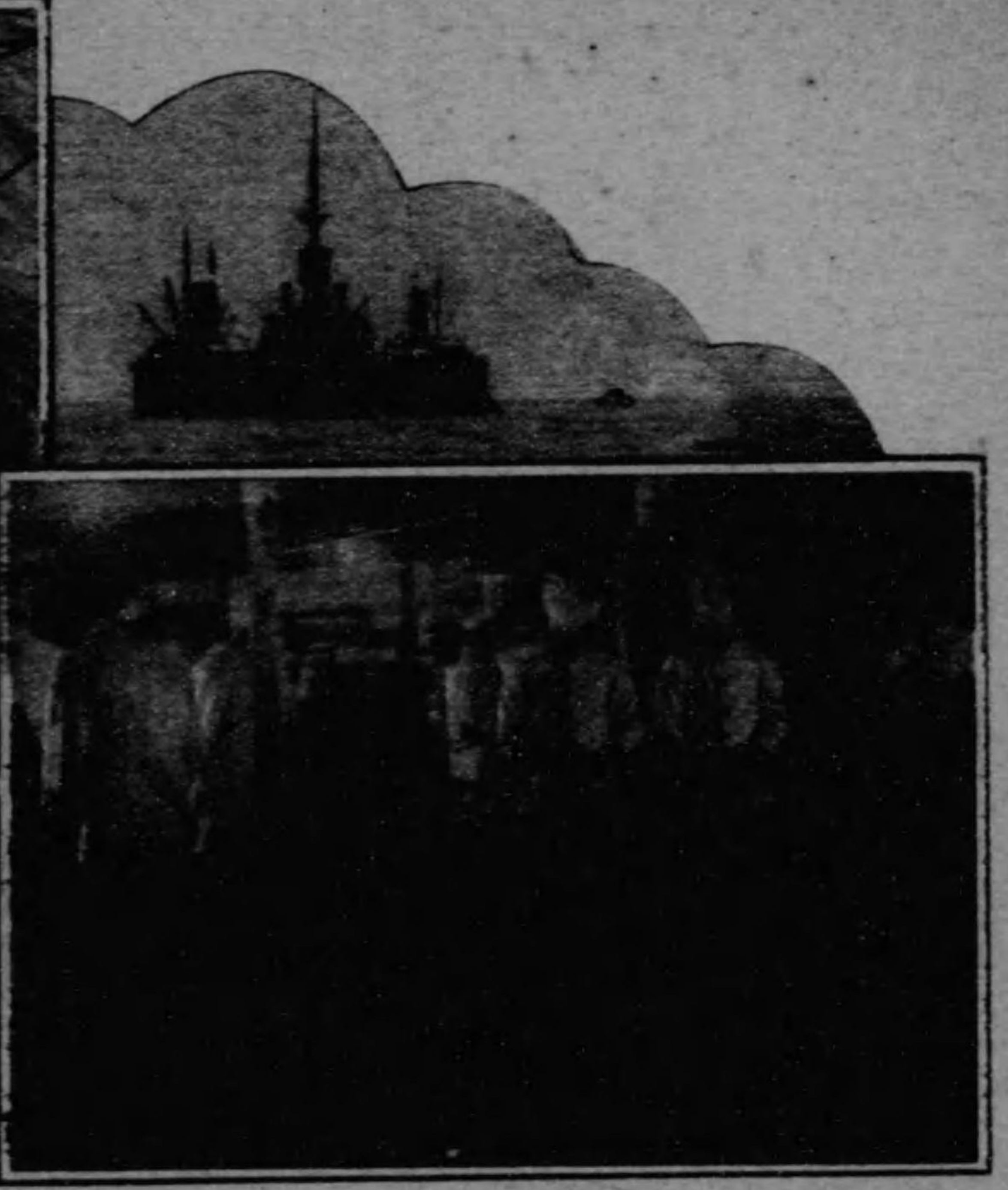
◇ 一時そこらの店先でしきりに見かけた「三つ一圓」のカニ船、官博のきりめがあつたかどうかは聞いても見ないが、相も變らず眼裏に映るでゴタ／＼やつてゐる所を見ると大した効果もなかつたらしい。何れにしてもこの蟹船なるしろもの、蟹産額の九割何分、三十二萬餘箱中三十萬箱まで輸出し盡され、内地消費はあとの二萬餘箱に過ぎないのだから、内地賣行の些少な増減などはとるに足らぬといふもの。

◇ さてその輸出三十萬箱の大部分、七割ばかりが茶園へゆく、茶園人はよほど蟹が好きだと思つてドイツからも輸入がある、併しこれはほんのチヨツピリ、偉大雄蟹ヘーチンダは蟹を食つて死んだといふが、これはアラズカの蟹で、日本の蟹ではなかつた。次のお墨吉が茶園への一割七分、残りの一割三分が歐洲大陸、この高めて約千五百萬圓とある。

◇ 蟹漁業の本場は露領カムチャツカの兩岸一帯、それも主として西海岸に多く、現在二、三千トン級の蟹工船十六隻で漁獲に従事し、東海岸には五隻を配することになつてゐる。蟹漁業のシーメンは毎年三月から八月までの六ヶ月間で、一隻の工船の乗組員は船長、船員以下幼年女工に至るまで大凡二百人から二百三四十人。

◇ 春とも見えぬ極北の海をぬうて底深く網を垂直に下して行く、網を傳つて上つて来た獲物が足をとられてうごめくところをエツサク／＼と甲板に引上げ、兼して船中甲板上につて、かねて用意の籠籠で手取り早く賣

現在のカニ船は昭和十一年 日本船舶 日清



## (22) 米材とその輸出

◆ 世に米材(米國材)と稱せらるゝもの、大部分は北太平洋岸、コリス  
・レインチ(海岸山脈)西部の産材で、主なる材種はパイン、ファール、シダ  
ー、(ムロツタ等)、ワシントン、オレゴン、ブリティッシュ・コロンビヤの  
三州はその主産地である、一九二七年中この太平洋岸からの木材輸出總額  
は、約四千八百八十五萬石、内輸出が千九百五十萬石で、残り二千九百三  
十五萬石の夢出先は、同國大西洋岸、カリフォルニアを始め、アラスカ、  
極北、比露境と廣く各領土にわたる。

◆ 日本向け輸出額は約一千萬石、千八百萬圓、總輸出額の半ば以上で、  
実は遙かに下つて暹洲の三百萬石、歐洲、支那、南米等、何れも百五十萬  
石百圓に過ぎない。

◆ ところでこの米材の供給は果して何時まで續くものか、正確なことは  
勿論誰にも料らない。併し遅くとも三四十年後には、その伐採は海岸から  
百マイルぐらひ入り込まざるを得ぬ計算で、運送關係から相繼の上にも、  
従つてまた需給の上にも相當の變化は免れまいと、その道の人は見當をつ  
けてゐる。

◆ 野真左は伐採地における木材輸出、右は同水路輸送で、従来は百マイ  
ル以上の距離になると、必ず汽船による外道がなかつたが、野真に見る様  
な夜架橋法が完成されて以來、數百マイルの遠くまで曳航輸送を行ふこと  
が出来る様になつた、最も大きな夜になると長さ八百尺、容積四、五萬石  
九千トン型汽船一隻分の積載量に相當するものがある。

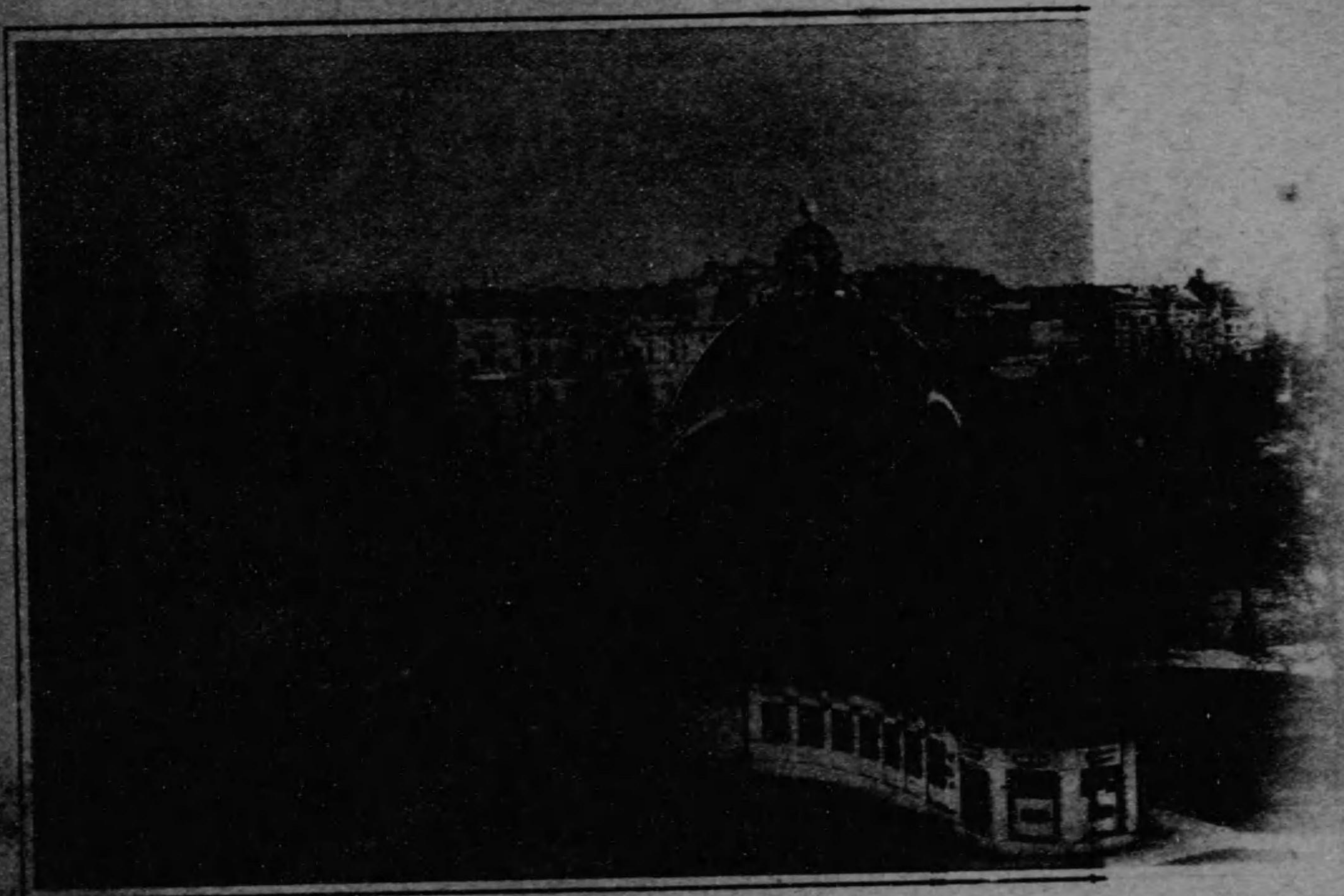


## ④ 伯林の電車

◇——東京には地下鐵道が興業たし、大阪でもやがて地下高梁併用の高速電車が出現しようといふ今日、伯林の電車といつても驚異を感ぜらうしいこゝにはない。たゞ、無暗に停電したり脱線したり時には衝突までやらかして大事故を起すのを避へるに注意を怠らぬだけだ。

◇——まづ第一が普通の市街電車でスケナトパーン、次に東京の省線電車にあたるリングゲ・ペーン、それから大阪で真似しやうといふ高架地下電車（地下電線が橋脚によつて高架となる）、この三つが「伯林の電車」の内壽で、大ベルリンの交通動脈、交通網の骨幹である。

◇——右はノルランドルフ・プラッツの地下線から高架線に至つたところ



昭和三年十月十日印刷  
昭和三年十月十五日發行

【定價金壹圓】

不許複製

發行所 朝日新聞社

大阪府北區中之島三丁目三番地

印刷所 大阪朝日新聞發行所

大阪府北區中之島三丁目三番地

發行所 大阪府北區中之島三丁目三番地 朝日新聞社



509  
121

